



LE COMMANDANT CHARCOT

CRUISE GUIDE

ル コマンダン シャルコー  
クルーズガイド



2022 – 2023





## 探検の先にあるもの

6年という歳月を経て、究極の極地探検船「ル コマンダン シャルコー」が誕生しました。これまでの旅行では訪れることができなかった、雪と氷に阻まれた世界の先にある“極地の真髄”へ。そこは、極地探検の先駆者たちがたどった軌跡と心に秘めた哲学、そして過去と未来をつなぐ科学力が結集する場所。

限られた人間しか訪れることが許されない極地を、豊富な極地航行の経験を持つスペシャリストたちとめぐるル コマンダン シャルコーでのエクスペディションは、壮大な「旅行」という価値だけでなく、地球の未来を考えるきっかけとなるでしょう。地球上で最も隔絶された本当の極地を目指す旅が、いま幕をあけます。

---

### INDEX

- P4-7 責任ある持続可能な旅行を——
- P8-25 ル コマンダン シャルコー で広がる新しい世界
- P26-37 船内設備・サービスのご案内
- P38-45 極地でのアクティビティ
- P46-63 北極の見どころ / 各コースの魅力
- P64-79 南極の見どころ / 各コースの魅力
- P80 クルーズ前後のプログラム



## 責任ある持続可能な船旅を――

一生忘れられない壮大な冒険の旅を、  
環境への最大限の配慮のもとで実現する――  
訪れた場所への痕跡を残さず、  
残ったとしてもそれが最小限かつ一時的な  
ものでなければならぬと考え、  
ポナンはこれまで 30 年間、世界中を旅してきました。

### 環境の認証と各国からの評価

ポナンの環境への取り組みは、厳格な審査基準を持つ様々な機関で認められ、その功績により世界各国で環境に関する賞を数多く受賞しています。

- ・ポナンの客船は、ビューローベリタス（フランス船級協会）の最高認証「クリーンシップ」「クリーンシップスーパー」の認証を付与されています。
- ・ドイツ自然保護連盟 NABU から「環境に最も配慮したクルーズ会社」として表彰されました。
- ・ポナンはヨーロッパのクルーズ会社として初めて「北米グリーンアライアンス認証」\* を取得しました。  
\*環境に優しい操業と技術の採用を証明する認証
- ・ポナンの船舶は、重油を一切使用せず、低硫黄燃料油（LSMGO）に完全に切り替えたことで、レパルム デュ ツーリズム賞の旅行部門で「持続可能な観光賞」を受賞しました。
- ・ル コマンダン シャルコーは、第 15 回シートレード クルーズ・アワード（2021 年）にて「エクスペディション クルーズ シップ オブ ザ イヤー賞」を受賞しました。

詳しくは、以下をご覧ください。

[au.ponant.com/sustainable-development](https://au.ponant.com/sustainable-development) (英語サイト)



ポナンで排出される二酸化炭素は  
全量、私たちが支援する森林再生や  
再生可能エネルギー生産  
プロジェクトによって  
オフセット（相殺）されています



75%

LED 電球使用で  
船内の 75% の節電を実現しました



1<sup>st</sup>

船舶における  
重油使用を廃止した  
世界初のクルーズ客船です



使い捨てプラスチックの  
使用を禁止し、2019 年には  
1 万 kg 分の使い捨て  
プラスチックを削減しました



ル コマンダン シャルコーでは、ガラスボトル  
使用システムの導入により、1 日あたり 200 本  
のペットボトル使用削減を実現しています



100%

廃棄物を 100% 分別し  
船舶からの排水は  
100% クリーン処理しています



すべての船舶に電源設備を装備\*し  
給電設備を備える港での着岸中は  
発電機エンジンを停止させ  
陸上から電力を受給しています  
これにより、船舶からの  
環境汚染物質をゼロにし、  
港の環境を守ることができます  
※一部は現在改装中



ポナンの環境への取り組みを  
ご覧いただけます  
上記文書は、  
必要に応じ更新されます

オリジナルの英語版が更新されてから  
日本語版更新には時間を要します  
英語、日本語で更新にずれが  
生じている場合は英語版  
([https://en.calameo.com/  
read/0001324234c0b00f0f3e7](https://en.calameo.com/read/0001324234c0b00f0f3e7))  
に記載された内容が優先されます



## ポナン極地エクスペディション 壮大なる冒険の旅

### 極限の地のその先へ

究極の冒険の旅「エクスペディションクルーズ」の先駆けであるポナンは、世界でも高く評価されている責任あるツーリズムと、ラグジュアリーな船上生活で、夢の極地旅行を実現します。

厚い氷に阻まれ、これまで旅行者では訪れることが困難であった白い大陸・南極と北極圏の奥地へ。幾多の極地探検家が残した伝説の軌跡をたどります。この大航海の先には、“まだ見たことがない世界”が広がっています。

### 極地専門の経験豊富なスタッフが皆さまをサポートします

ル コマンダン シャルコーでは豊富な極地航行の経験を持つ、高度なトレーニングを積んだスタッフが同行します。専門スタッフで構成されるポナンのエクスペディションチームが、船内生活、上陸中において特別な体験をご提供します。上陸中は極地での犬ぞり体験、ゾディアックボートツアー、カヤックなど、様々なアクティビティをお楽しみください。また鳥類学、海洋生物学、民族学など様々な分野のナチュラリストガイドが同行し、知識の共有をいたします。それぞれのツアーでエクスペディションチームがお客様の安全を確保しますので、安全な環境で、極地の旅を存分にお楽しみください。

### ル コマンダン シャルコーのクルーズは、ドリンクなどすべてのサービス\*が旅行代金に含まれる「オールインクルーシブ」スタイルです \*一部有料

ゾディアック・ボートでの上陸、各種アクティビティ、オリエンテーションやレクチャー、クルーズオリジナルパーカーやブーツをはじめとした極地装備のレンタルなど、サービスには冒険に必要な全てが含まれています。乗船されましたら、心置きなく冒険の旅をお楽しみいただけます。



エクスペディション  
チーム

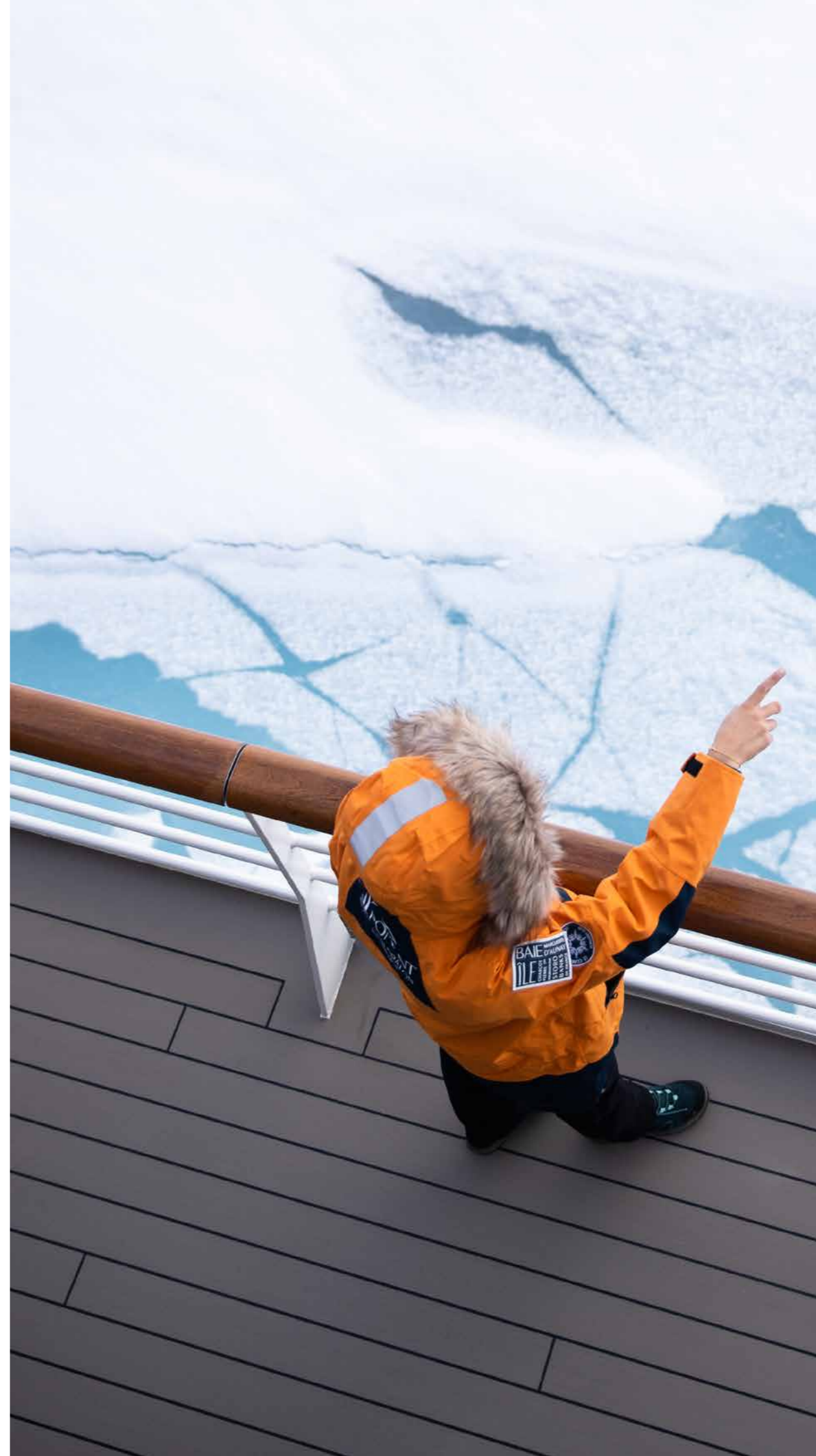


オリジナルパーカー  
をプレゼント



極地用ブーツの  
無料レンタル

極地での旅は、その場所、その時間だけの特別な体験が数多くあります。航行スケジュール、上陸場所やタイミング、野生動物の動きなど、天候や氷の状態によって左右される要因が多いからこそ、その時のコンディションに合わせて旅程を見直しています。また、日々の運行航路は沿岸の氷に影響を与えないようその状態に応じて決定されています。



### 極地圏の環境保全

ポナンは、極地の環境保全を推進するシンクタンク「Le Cercle Polaire®」を支援し、同シンクタンク関係者や環境保全 NGO「Cercle Polaire」のメンバーが定期的に極地クルーズに参加しています。

ポナンクルーズは、国際南極ツアーオペレーター協会 (IAATO) および北極探検クルーズオペレーター協会 (AECO) の加盟団体であり、乗船可能人数、野生動物との距離、エクスペディションチームの訓練、緊急・医療避難計画などに関する厳しい規則を遵守しています。







ル コマンダン シャルコーで  
広がる新しい世界

北極と南極。この地が「旅行先」となり、クルーズで訪れるようになって約20年。その先駆けとして、ラグジュアリークルーズを企画し続けるポナンが2021年、新しい船「ル コマンダン シャルコー」を就航させました。これまでの耐氷客船では到達することができなかったその先へ——「旅行では無理だ」と言われようとも、極地への旅にこだわり続けたポナンが、ここでしか体験できない冒険の旅へお連れします。この強い思いを乗せた船は、極地研究の歴史を牽引したフランスの探検家の名を冠しています。





## はじめに

ル コマンダン シャルコー建造には、関わったメンバーの熱い思いがありました。それは、誰もが自由に極限の地を訪れ、極地探検の先駆者たちがたどった軌跡と心に秘めた哲学を感じ、より深い感動を共有すること—— どうすればそれを現実できるのか。試行錯誤を繰り返す中で、構想されたのは「極地探検船をゼロから作る」という道筋でした。乗組員や投資家たちの支持を得ながら、船名の由来ともなったジャン バティスト シャルコーの遺志を受け継ぐ努力が続けられました。これはポナンにとっても、かつてない大きな挑戦でした。その思いを形にしたプロジェクトメンバーたちの声をお届けします。

### 「これは可能なのか」ではなく「なぜ挑戦しないのか」

#### ジョゼ サリカ（エクスペディションディレクター）

私は 2015 年にこのプロジェクトの存在を知りました。ポナン 本社の人間として、これまで誰も挑戦を考えたことがない、規格外の構想に、当初は「そんなことが可能なのか?」という疑問が頭を巡っていました。「なんてクレイジーな試みなんだ…」と、何度も思いました。しかし、ジャン バティスト シャルコーが、人として大事にしていた姿勢を知ったときに、今までとは逆に「なぜ挑戦しないのか?」と思ったのです。その気づきがあったからこそ最後までプロジェクトを完遂することができました。

#### マチュー ペティー（新規造船担当ディレクター）

2015 年、ポナンの当時の社長から「北極まで航行できる船で、エクスペディションという分野を真の極地への冒険に近づけたい」という連絡が入り、この未来に向けた新造船プロジェクトが動き出しました。この野心的なプロジェクトを実現するためには新たな設備、装備、手段が不可欠であり、そこで構想されたのが「極地探検船を 1 から作る」という道筋でした。地球上のどこを探しても、そんな船は存在しなかった当時、それを造ろうとしたところで実現可能なかわからない。答えのない

領域への不安が、数えきれないほど頭に浮かんできました。「ひとつの箱を開けたら、その中に 10 個の箱があり、それぞれにさらに 10 個の箱が入っている…」。進むたびに解決しなければならぬ課題が増えていく難しいプロジェクトを進めていく中で、合理的に「北極点に到達できる船を造る」ということを突き詰めていきました。クルーズ客船としての価値、最新テクノロジーの最大限の活用、環境への最大限の配慮という必須条件がある中で、どのように全体をデザインすべきなのか。とにかくスピード感を保ちながら試行錯誤を続け、プロジェクトを前へ前へと進めていきました。

### ポナンに受け継がれる果敢な挑戦の精神

#### パトリック マルシッソー（ル コマンダン シャルコー船長）

初めてこのプロジェクトの全容を聞いたときには本当に驚きました。それはポナンにとって新たな大きな一歩であり、全く新しい次元の未来が拓けていく起点となる瞬間でした。このとき改めて、革新的な物事に取り組んでいく果敢な精神こそがポナンに絶えることなく受け継がれてきた真髓なのだ気づき「これは私たちが挑んでいく、次なる大きな挑戦だ」という思いが

湧いてきました。それまでになかった全く新しいことに果敢に挑んだ私たちの成果を皆様に提供できることを、至上の喜びと感じています。

### これ以上ない、本物の冒険にふさわしいプロジェクト

#### エティアン ガルシア（ル コマンダン シャルコー船長）

極地探検が可能なクルーズ船を造ることは全ての船乗りが夢見るこれ以上ないワクワクする挑戦でした。私自身、15 年にわたり極地探検に従事してきましたが、そのキャリアの中でも、これ以上に“本物の冒険”にふさわしいプロジェクトはありませんでした。

#### フローレンス クイパー（エクスペディションリーダー）

ル コマンダン シャルコーは、ジャン バティスト シャルコーが後世に残した科学探求の成果と、冒険の伝説的歴史を現代においてさらなる高みへと押し上げる力がある客船です。未知なる世界を体験することはとても尊く素晴らしいことです。しかし今のこの世界には、そのような鮮烈な体験ができる場所はほとんど残されていません。このル コマンダン シャルコーの就航

は、極地をこよなく愛する者たちにとってだけでなく、これからこの旅に参加されるお客様にとっても、かけがえのない特別な価値があると思っています。「未知を切り拓いていく探検の精神」「真なる探検の喜び」。それらを手にし帰路につく—— そんな旅になると確信しています。

#### 伊知地 亮（日本・韓国支社長 / エクスペディションリーダー）

これまでの耐氷船では到底たどり着けない極地の更なる先へ、砕氷能力のあるル コマンダン シャルコーでしかご案内できない特別な航路が、今後毎年発表される予定です。これまでに極地を訪れた方にも、一生に一度の極地への訪問を検討される方にも、かけがえのない船旅を提供できる客船です。加えて今ある最先端の技術を駆使して最大限環境に配慮した LNG x 電気のハイブリッド船ですので環境意識の高い方にも安心してご乗船いただけます。

私はこれまで 100 回を超える北・南それぞれの極地での旅を経験していますが、この船で再訪したいと心から思う、特別な船です。





1903年「ル フランス号」での初の南極大陸遠征は、フランスのル アールから出港

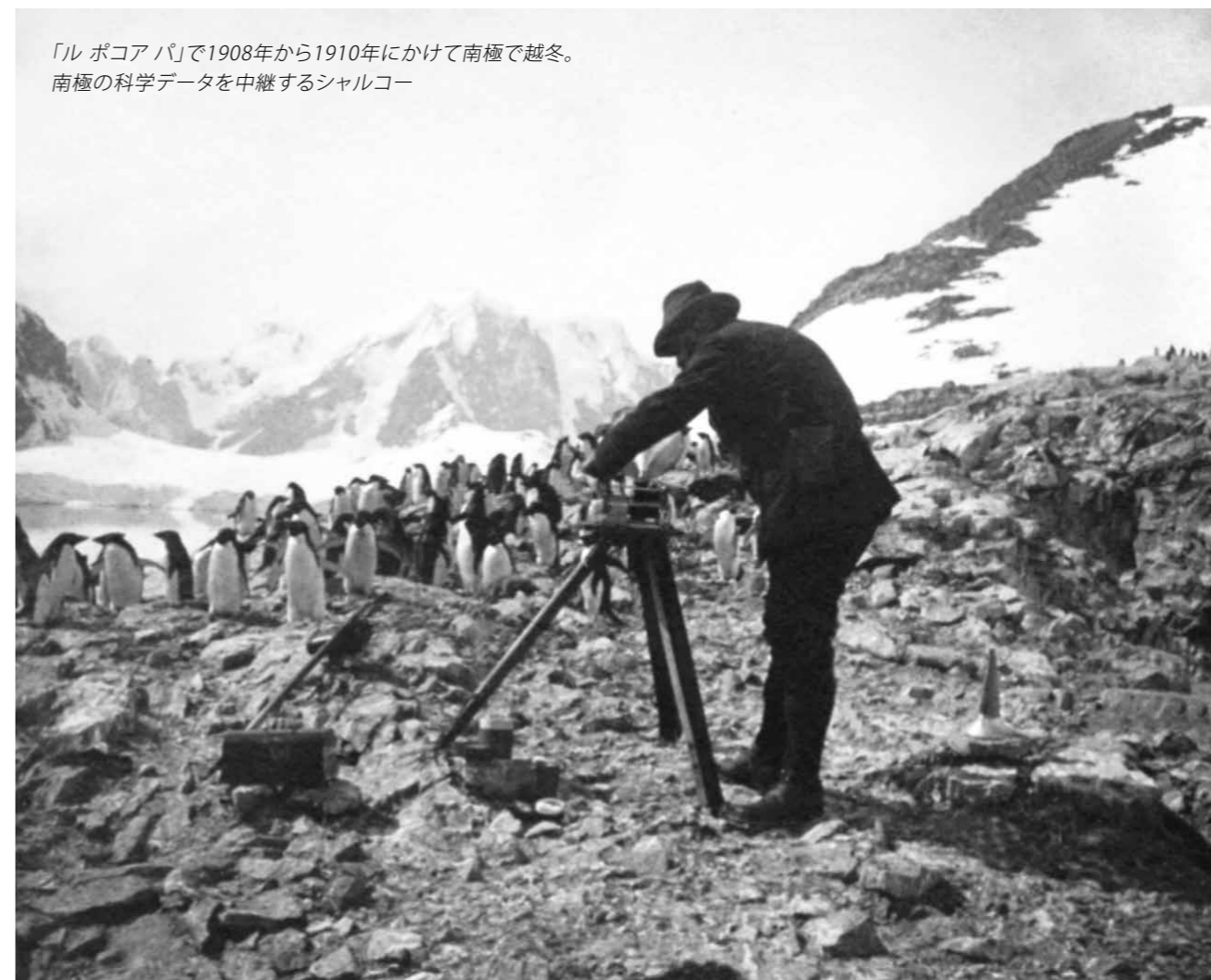


## 伝説のフランス人探検家 ジャン バティスト シャルコー

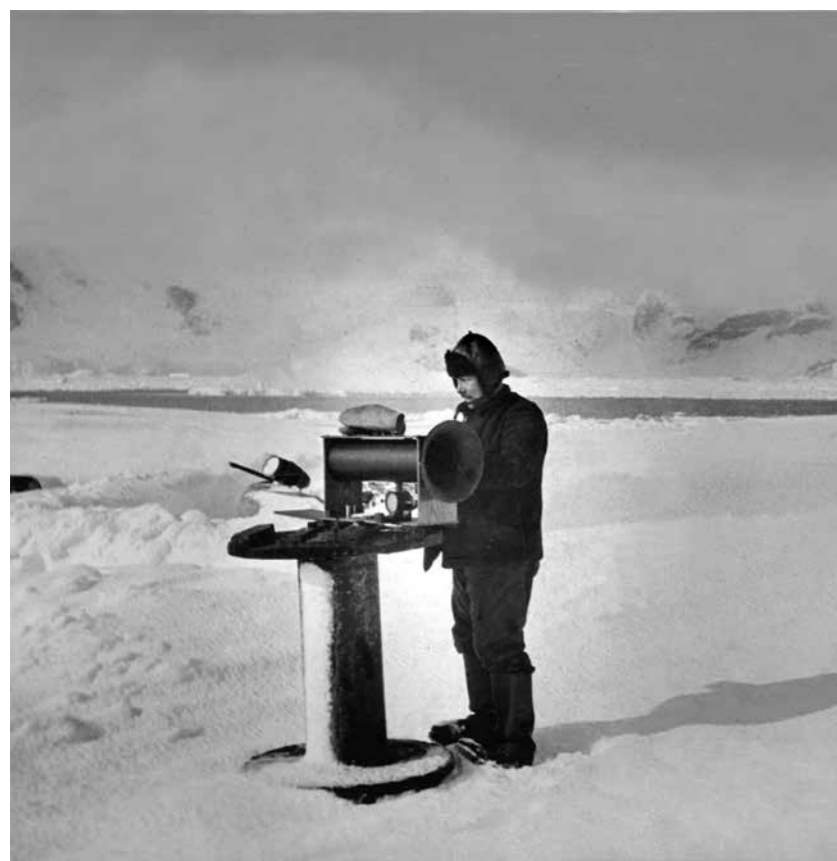
当時命がけだった極地探検で、乗組員の命を一人も失わせなかった伝説の探検家、ジャン バティスト シャルコー。幼少期から船乗りになることを夢見て、ノルマンディー沿岸で地元の漁師とともに航海術を学び、また医師であった父の影響から、医学の道も歩みました。

世界各国で極地への科学的、地理学的な探検が繰り返された時代に、シャルコーもまた、極地へと舵をとり、極地研究の科学者として名を馳せました。いつでもユーモアを忘れず、極地に最も多くのワインとシャンパンを持って行った探検家と言われた彼は、「極地の紳士」という愛称で親しまれていました。

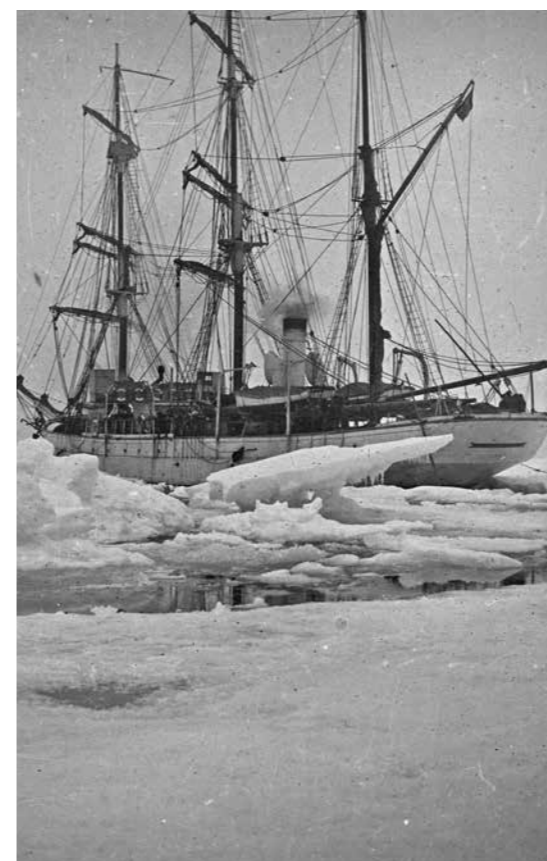




「ルポコアパ」で1908年から1910年にかけて南極で越冬。  
南極の科学データを中継するシャルコー



シャルコーの人生は、極地の旅とともにありました。その後も1921年から1936年にかけて、北極海やグリーンランドの東海岸沖で研究を行うなど、精力的に極地研究を続けました。しかし、極地探検船「ルポコアパ」で北極探索へ向かった1936年、アイスランド沖で嵐に遭い、船とともにシャルコーは海に沈みました。未知なる極地の姿を観測し、世界に共有したいというシャルコーの強い思いから繰り広げられた壮大な探検の数々は、現代の極地研究の礎となっています。





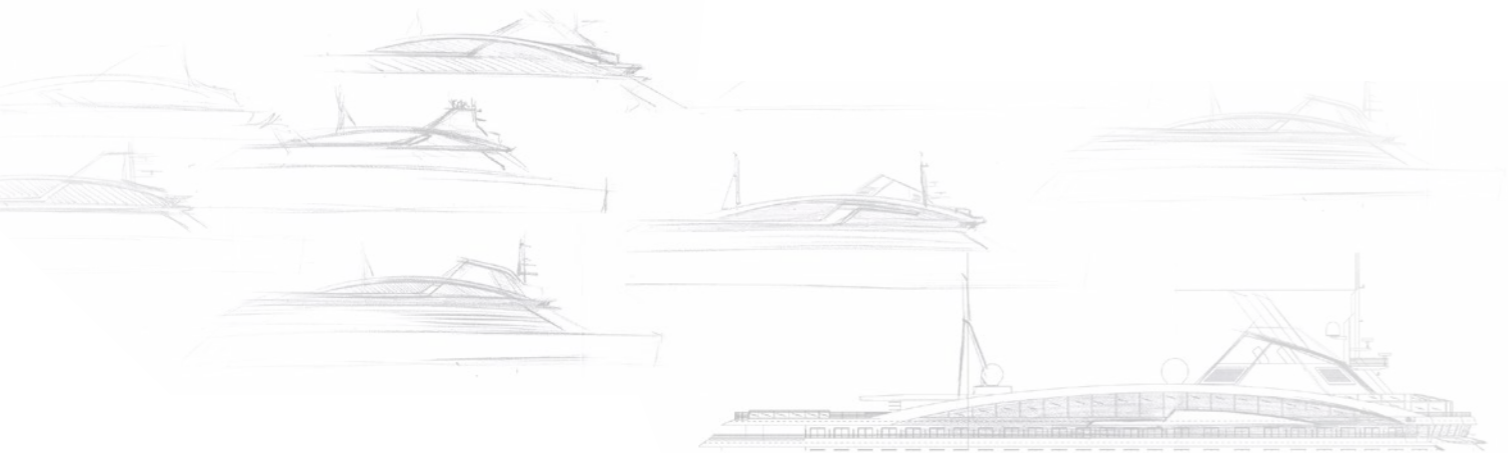
最新鋭のテクノロジーを駆使したル コマンダン シャルコーは、革新的な機能性だけでなく、環境負荷をかつてないほどに減らした持続可能な究極の砕氷船です。

人びとの「極地の旅への探究心」を満たし、旅行者の到達を拒んできた場所への航海を可能にした、これまでにないクルーズ船です。

## ル コマンダン シャルコー







## ゼロから作り上げた まったく新しい船のあり方

建造初期からのメンバーである、海軍施設設計会社「スターリング デザイン インターナショナル (SDI)」のディレクター・ティボー タンセラン氏が語る、まったく新しい船のあり方。



### ル コマンダン シャルコーの誕生秘話

SDI 社のディレクター、ティボー タンセランとポナンのディレクター、ジャン エマニュエル ソーヴェは 2015 年から、ル コマンダン シャルコーのあるべき姿を議論してきました。船体の設計については、砕氷船の設計に特化したアーカー アークティック社にも協力を仰ぎ、客船のコンセプトや全体の構造、外装デザインも、全てをゼロから共同開発してきました。

過酷な環境を旅するクルーズ客船は、船体の設計をこれまでにない特殊な仕様へ変更する必要があり、その完成には困難を極めました。「参考にできる船は世の中に一切存在せず、もちろん SDI 社としても経験のない、壮大な挑戦でした」とタンセラン氏は振り返ります。

二人はこれまで当たり前とされてきた一般的な客船建造の工法を根本から見直し、船が氷の合間を縫って進んで行く間でも客室に騒音や振動が伝わることなく静けさが保たれるよう、上部構造を通常よりもかなり後方に置く設計を実現させました。

### LNG（液化天然ガス）を燃料とする世界初の船

ル コマンダン シャルコーは、客船としての美しさから環境への配慮に至るまで、全てにおいて妥協が許されない船でした。試行錯誤の結果、優美な曲線とシャープな直線を織り混ぜた、冰山を思わせる現在の船体が導き出されましたが、ポナンの船に連綿と受け継がれてきた格調高いスタイルでありながらも、最新鋭の砕氷船としての機能を持たせるというバランス配分には苦心しました。

またプロジェクト始動時の 2015 年は、客船用の LNG（液化天然ガス）貯蔵技術は確立されていませんでした。環境への配慮を考えると LNG 燃料以外の選択肢は考えられず、難しい経営判断が迫られました。多くの関係組織やパートナー企業と協議を重ねながら建造を進め、結果として、LNG を燃料とする世界初の客船として就航することに成功しました。

### 2015年: 野心的なプロジェクト始動

ジャン バティスト シャルコーが初めて南極を探検した1905年より110年の時を経たこの年、ポナンは専門家や科学者とともにゆく、これまでの極地の旅のさらに先へ踏み込む、旅行の域を超えた探検を考えていました。そして、極地探検のための「ハイブリッド電動クルーズ船」を開発するという野心的なプロジェクトを始動させました。

### 2015-2016年: 「ハイブリッド電動クルーズ船」設計スケッチの完成

フィンランドを拠点とするコンサルタント企業、アーカー アークティック社と海軍施設設計会社スターリング デザイン インターナショナル (SDI) 社が協働し、「氷上を航行できるラグジュアリーな客船の設計」と「その環境へのインパクト」について議論を重ねました。

### 2017年: 正式に造船開始

ポナンは、本プロジェクトの本格始動を正式に発表。砕氷船や探検クルーズ船などの建造で知られているノルウェーの造船会社ヴァード社が発注を受け、正式に造船が始まりました。

### 2018年: 詳細設計と造船プロセスの開始

メインコンセプトである「外部環境と調和する船内空間」を、建築家ジャン フィリップ ニュエル氏とジャン ミシェル ヴィルモット氏が発表。造船の工程において重要な「鋼材の切断」と「キール（船体の中央を走る強度部材）の取り付け」をし、本格的に建造がスタートしました。

### 2020年: 推進装置アジポッドの搭載

ル コマンダン シャルコーは、電気システム大手ABB社（スイス）の、船を360度回転させることができる全周旋回式ポッド型推進装置「アジポッド」を搭載しています。これによりエネルギー使用効率を最大化しながら、氷の中で高い機動性を発揮することが可能になりました。

### 2021年: 氷上テストの成功

ポナン、ヴァード社、ヴァイキング社、アーカー アークティック社の4社連合のプロジェクトチームが見守る中、ノルウェー沖、グリーンランド北東に位置するスヴァールバル北部の氷原に船を浮かべ、実際の氷原環境下での挙動テストを行い、成功を収めました。

### 2021年9月6日: フランス船初の北極点到達

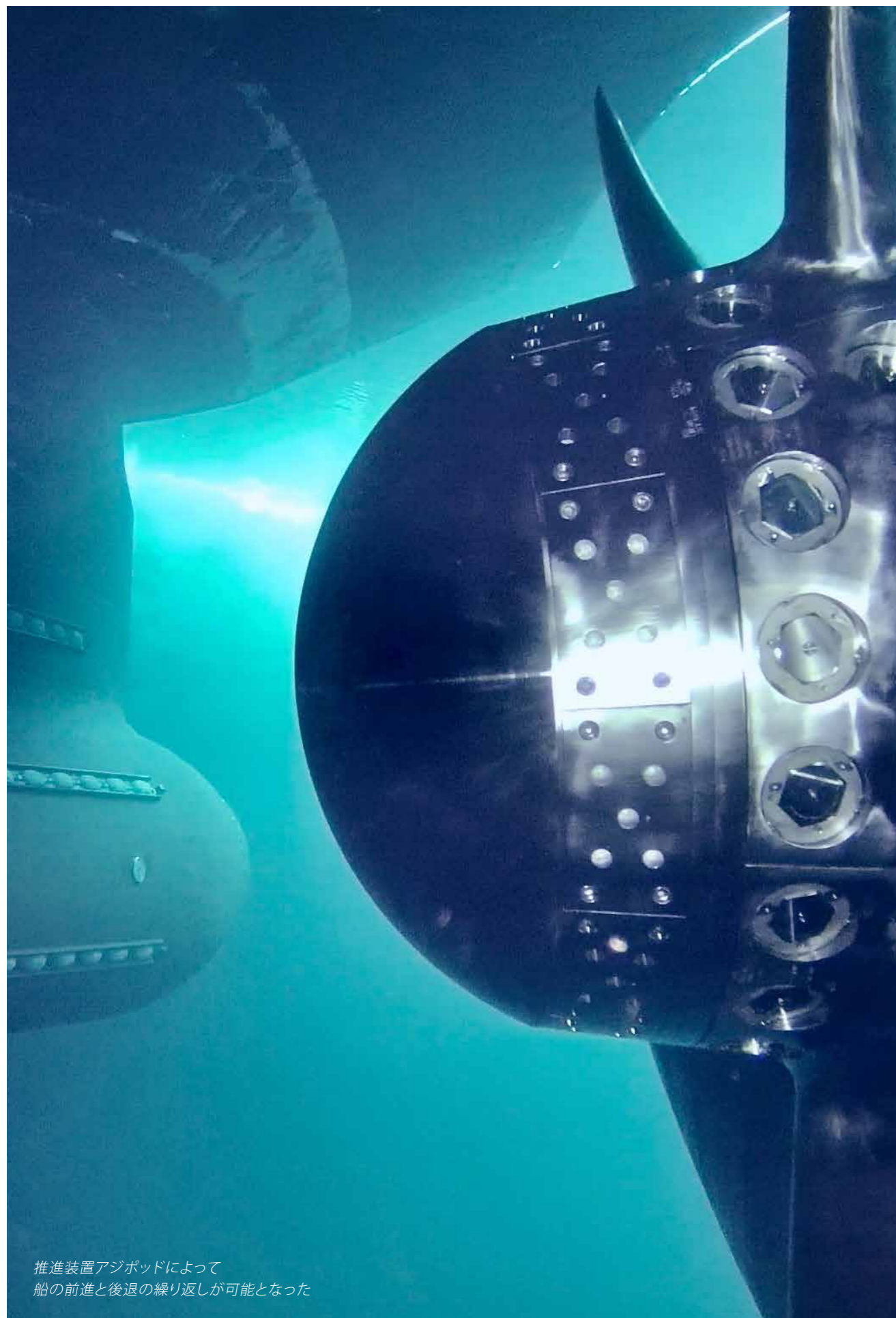
この日、ル コマンダン シャルコーはフランス船として初めて北極点に到達し、極地クルーズの新たな歴史の扉を開きました。

### 2021年10月1日: 就航式

かつて、ジャン バティスト シャルコーが遠征に出発したル アーブル（フランス）で、就航の門出を祝う式典を行いました。







推進装置アジポッドによって  
船の前進と後退の繰り返しが可能となった

## 航海— それは 人々の感情を揺さぶる壮大な舞台

ポナン建設部門の新ディレクター、マチュー ペティトーは6年間という長い年月をかけ、各分野のスペシャリストを率いて、この世界で唯一無二といえる画期的な極地探検のための客船、ル コマンダン シャルコーの設計を推し進めました。彼自身が語る、この壮大なプロジェクトのベールに包まれた誕生物語とは――

**ポナンの当時の社長であるジャン エマニュエル ソーヴェから、このル コマンダン シャルコー プロジェクトの全貌を初めて聞いた際、どう思われましたか。**

「そんなことができるのだろうか」というのが最初の感想でした。これは、エクスペディション（探検）という概念を、エクスプロレーション（探査）というステージへ押し上げ、クルーズ旅行の楽しさと共存させるというものだったのです。それができる船は、当時世界のどこにもありませんでした。

**ル コマンダン シャルコーは、まさに世界の最先端をゆく、他には存在しない船です。だからこそ、設計において真似ができるものもなければ、参照できるような見本もなかったのでは。**

前例がなかったので、構想から細部に至るまで全てゼロからイメージし、デザインし、作り込んでいきました。安全性やLNG（液化天然ガス）を動力とする推進システム、バッテリーの統合、ハイブリッド電気モジュールなど、それらの全てをゼロから構想していきました。

**大きな挑戦を自分たちに課していったのですね。**

あらゆる点で、自分たちの限界に挑戦していくプロセスの繰り返しでした。内装デザインを手がけた世界的な建築家ジャン ミシェル ヴィルモット氏も、船のデザインは初めて。彼にとっても大きなチャレンジでした。

**海氷の近くを航行できる客船は他にもありますが、ル コマンダン シャルコーはそれらとは何が違うのでしょうか。**

極地航海の船舶は、法律で細かく分類されていて、例えばロシアの原子力砕氷船は最高位の「PC2(極域クラス)」に格付けされています。多くの船舶は格付けを受けやすい「PC6」の κατηγοリーを取得していますが、ル コマンダン シャルコーは客船としては世界初となる「PC2」に格付けされました。

**造船の実現のためにどんな苦労がありましたか。**

技術的な難しさはもちろん、莫大な資金を集める必要があるというのが大きな課題でした。そういった財政面でのリスクも、ポナンが自ら背負う覚悟を決めて進めたのがこのプロジェクトです。世界最先端の環境技術の採用も、社内で明確な意思を持って決定していきました。その先に生まれたのが、ル コマンダン シャルコーなのです。



## 客船の常識を覆す 数々のアイデアを実現させるために

厚さ6メートルもの海水も割って進むことができる砕氷船で、  
極地観測船と同レベルの性能を持つ船を、もっと快適で、ラグジュアリーに。  
そして地球に負荷をかけずに走行できるようにする——  
これには構想から細部に至るまで、全てをゼロからイメージし、  
作り込んでいく必要がありました。

### 環境に負荷をかけずに目的地へ到達する、具体的な取り組み。

ル コマンダン シャルコーの大きな特徴は、電気と LNG（液化天然ガス）の両方を燃料とするハイブリッド船であることです。手付かずの自然が残る極地を航海する際は、環境負荷を最小化することが必須事項です。ル コマンダン シャルコーは利用可能な最もクリーンな燃料として、この種の船としては初めて LNG の採用を決め、現在は6週間の自律運航ができるようになっていきます。

### バッテリーを活用する理由。

LNG を燃料として常時運行を実現するためには、バッテリー（電源・蓄電）機能の搭載が不可欠でした。このバッテリーが電気系統のための備蓄的役割を果たしています。

### 凜とした空気の広がる極限の地を、エンジン音を立てずに船で進んで行く体験は格別です。

ル コマンダン シャルコーは発電機のスイッチを切る「サイレントモード」にすることが可能です。極地の氷の世界は、全ての音が吸収される完全な静寂が広がっていますが、エンジン音などの騒音がある船では、その静寂を味わうことができません。音を切って航海しながら静寂を楽しむという、この船だからこそできる究極の贅沢を、ぜひ皆様に味わっていただきたいと思っています。

### 360度船を回転させることができる「アジポッド」について

アジポッド（全周旋回式ポッド型推進装置）を搭載し逆走での航行が可能になったことで、素晴らしい景色や感動的な瞬間を逃さずに堪能することができるようになりました。洋上で的確な位置取りを行い、安全に航行するため、ブリッジ（操舵室）を前後2箇所に配置し、極地での特別な体験を提供しています。

ポナン建設部門・マチュー ペティートル  
ル コマンダン シャルコーのエンジンルームにて



### THE VESSEL IN DETAIL

全長：150m  
全幅：28m  
喫水：10m  
巡航速度：15ノット（平均）

客室数：123室  
乗組員数：215人  
設置電源：42MW  
就航年：2021年





## 環境に配慮した航行を 可能にするテクノロジーの活用

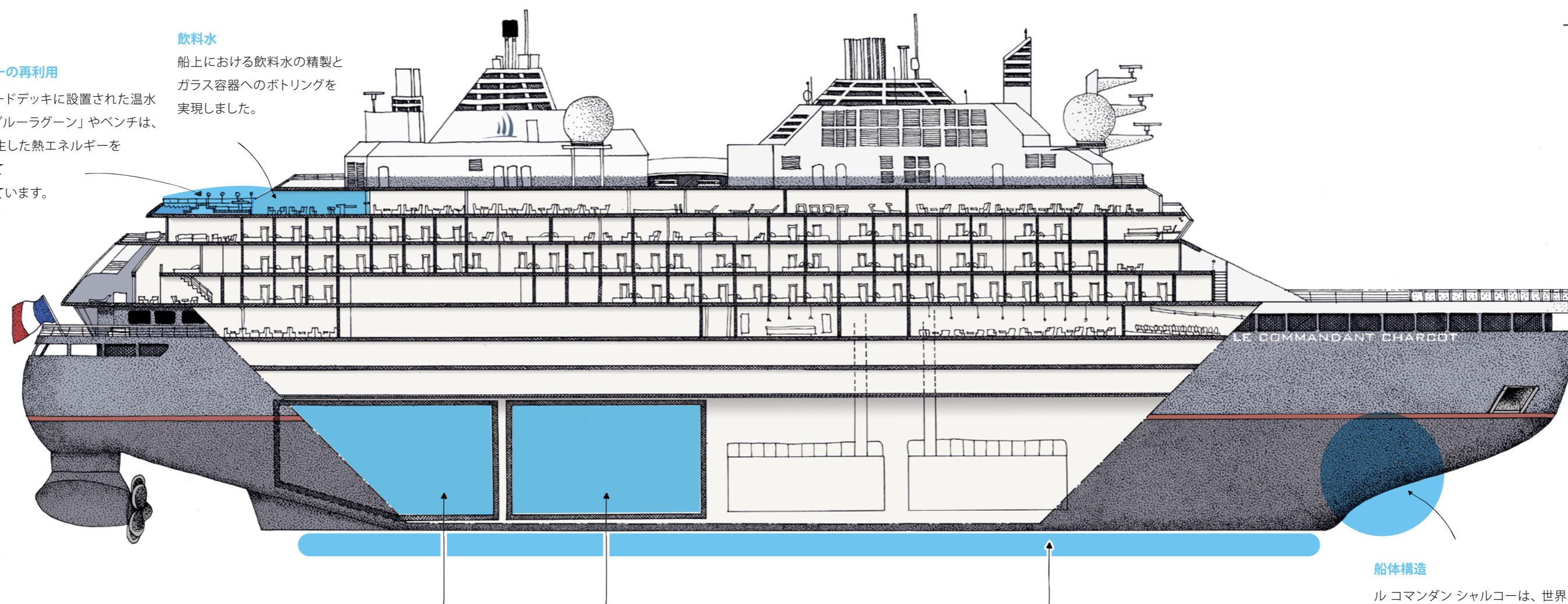
ル コマンダン シャルコーが、環境負荷をかけない最先端の船であるためにプロジェクトチームは最新テクノロジーを積極的に導入し、これまでにない新しい技術を開発しています。

### エネルギーの再利用

プロムナードデッキに設置された温水プール「ブルーラグーン」やベンチは、船内で発生した熱エネルギーを再利用して温められています。

### 飲料水

船上における飲料水の精製とガラス容器へのボトリングを実現しました。



### ハイブリッド推進システム

- LNG（液化天然ガス）と電気バッテリーの使用により、二酸化炭素排出量を25%、窒素酸化物排出量を85%、微粒子排出量を95%削減しています。
- 客船で使用される蓄電機能として最大規模を誇ります。
- 4,500 m<sup>3</sup>のLNG燃料タンク2基を備えています。世界で初めてLNG燃料だけで6週間の自律航行を実現しました。

ル コマンダン シャルコーは、環境保護へ最大限の配慮を払い設計されており、大気へのCO<sub>2</sub>の排出や廃棄物のリサイクル、下水処理などを行う最新の技術を導入し、船級協会のビューローベリタス（フランス船級協会）からクリーンシップ認定も受けています。同協会が授与する最高の認証です。

### 海洋生態系へ配慮した設備

- 海底・海中生物探知機を備えています。
- 保護区内での停泊を必要としない電子測位システムを備えています。
- バラスト水処理設備を備えています。
- 騒音・振動を最小化しています。

以下の設備・システムはル コマンダン シャルコー以外のポナンの船舶同様に標準装備されています。

- 廃棄物リサイクル：ガラス、プラスチック、金属等の廃棄物を圧縮して保冷庫で保管し、寄港地にて専門業者が荷揚げして処理します。
- 生活用水や航行バランスを取るために必要な「バラスト水」は海水を利用し、適切に処理して海へ戻しています。
- 船内ではLED電球を使用し、エネルギー消費量75%削減を実現しました。
- 電気接続が可能な港への停泊中は陸上からの電力供給を受けることで本船からの温室効果ガス放出がゼロとなります。

### 船体構造

ル コマンダン シャルコーは、世界で唯一「PC2（極域クラス）」を持つ客船として認定され、他のクルーズ船ではアクセスできない極限の地の水路を、高い安全性のもと航行することが可能です。

本イラストは、船平面図の概略です。デッキプラン及びキャビンプランについてはP34-37をご参照ください。

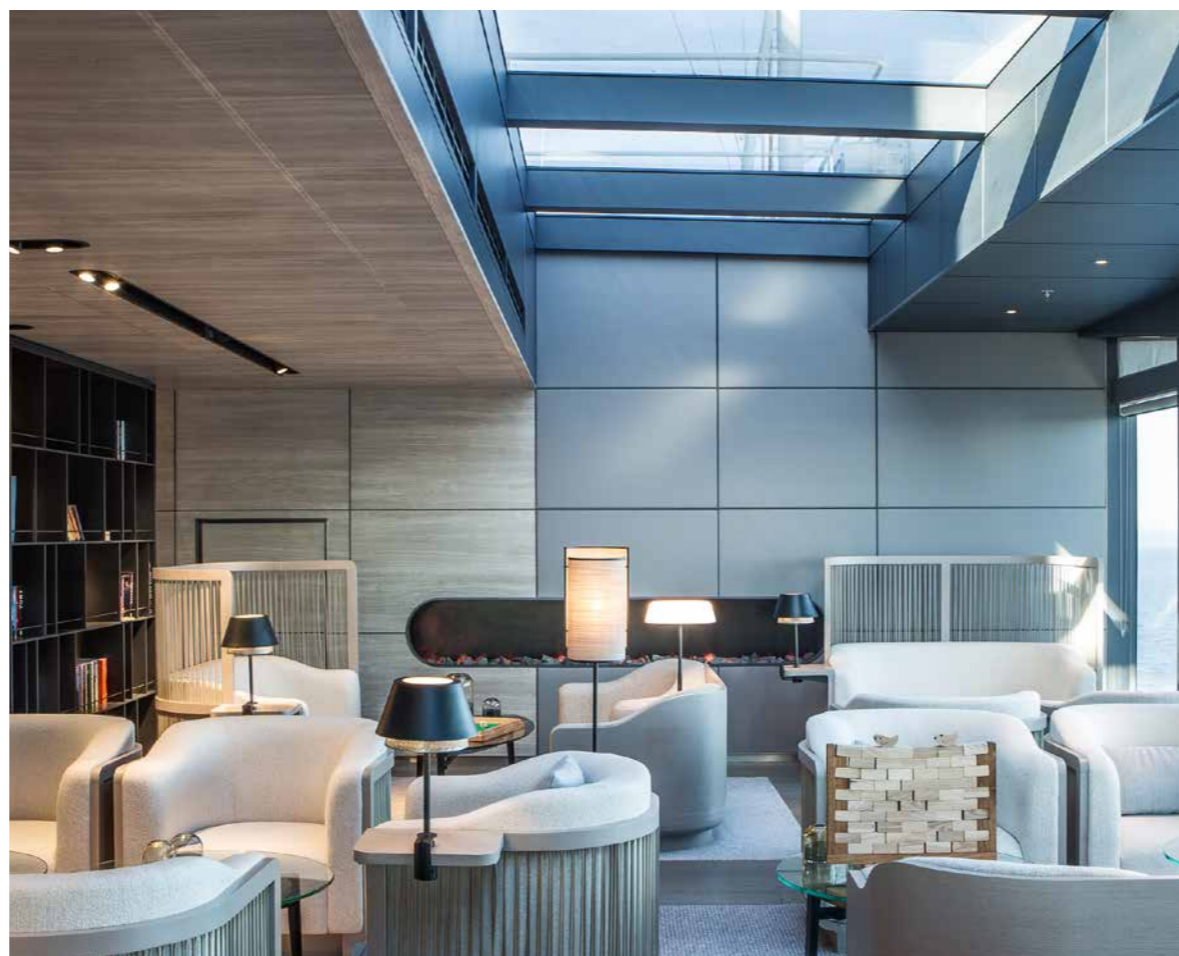


## 船内設備・サービスのご案内

# LIFE ON BOARD

ル コマンダン シャルコーの、本質的なラグジュアリーへのこだわりは、図面を引き始めた瞬間から、最後にインテリアを配置するまで一貫しています。荒々しい極地の海に、まゆのように浮かぶ心地のよい空間。ル コマンダン シャルコーでの極地への旅は、船内と外界がゆるやかに調和し、上質な船内空間にしながら、いつでも極地の壮大な空気を感じられる設計が随所に散りばめられています。

世界にその名を知られる建築家・ジャンフィリップニュエルとインテリアコーディネーター・ジャンミシェルヴィルモットにより設計されたル コマンダン シャルコーは、フランス家具協会が内装デザインの功績を称えて授与する「パルマレス・コントラクト2021」にて、「アンバサダー」カテゴリー第1位を受賞しています。







## ウェルネス&リラクゼーション

ル コマンダン シャルコーは、これまでのポナンの客船にはない、数々のスペースを備えています。心地よい暖かさを楽しみながら、極地の環境を余すことなくご堪能いただけます。

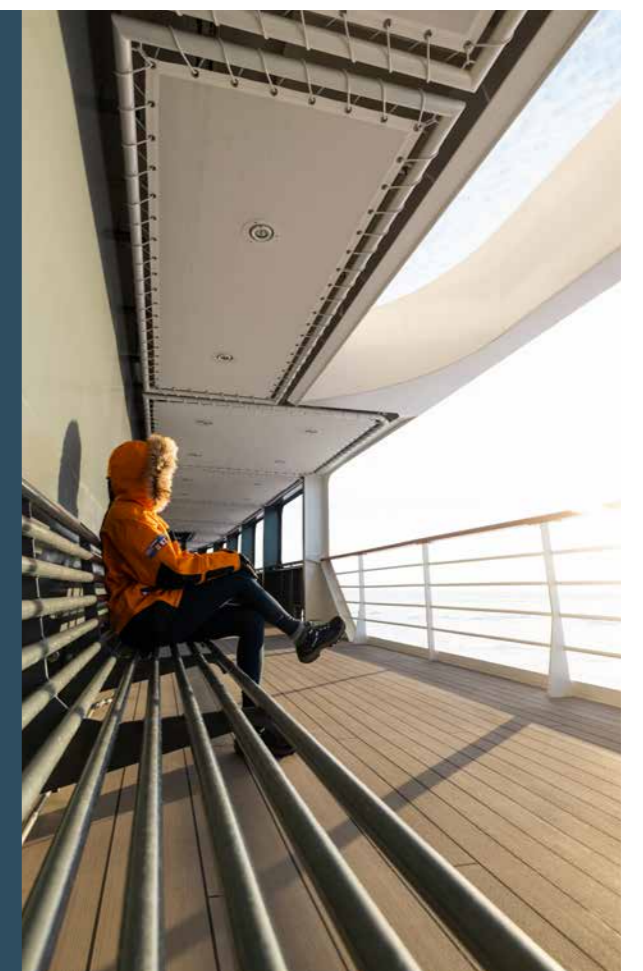
かつてないラグジュアリーな  
空間とサービスを

### 屋内設備

- ・スパやサウナを出た後は、爽快なスノーバスを体験できるスノーブルームで、寒さの恩恵をお楽しみください。
- ・デトックス バーのフルーツカクテルを楽しみながら、屋内プールのそばのウィンター ガーデンでリラックス。パノラマの窓からは、極地の風景が広がっています。
- ・シガー バーでは、上質な葉巻とプレミアムスピリッツをお楽しみいただけます。

### 屋外設備

- ・本船のエネルギー回収設備により、常時 27 ~ 37°C に温められた屋外温水プール「ブルーラグーン」に浸かりながら、息をのむような極地の絶景をお楽しみください。
- ・最後尾から船首まで歩くことができるプロムナードデッキは、他の客船にはない、ル コマンダン シャルコーの珍しい設備のひとつです。ベンチはブルーラグーン同様、本船のエネルギー回収設備により温められています。
- ・途切れることなく続くプロムナードデッキでは、広大な北極・南極の風景の中、ここでしか味わえない大きな自然に包まれるの静けさに満ちた一人の時間・感覚を体験することができます。





## エッセンシャルウェルネス 旅をしながら心と体を整える



水平線に面したヘアサロン、大きな窓のあるマッサージルーム、極地の景色を望むことができるサウナなど、ル コマンダン シヤルコーのウェルネスエリアは、屋外の環境と調和するように設計され、デザイン性と最新機能を兼ね備えた新しい次元のものへと進化しました。

オートクチュールトリートメントを行うビオロジック ルシェルシュ。天然由来成分のケア製品を開発し、ひとりひとりの肌をテーラーメイドでケアします。ヘアサロンは、イタリアのブランドダヴィネスが、環境負荷のかからない運営をおこなっています。

## ガストロノミー “美食” ポナンの料理哲学

ポナンでの旅の楽しみで不可欠なものが「ガストロノミー“美食”」です。フランスの食文化の情熱を、極地でもご提供いたします。ポナンの全船の料理をプロデュースする世界的シェフ、アランデュカス氏が自身のレストランからシェフ、パン職人、パティシエを派遣し、最高水準のサービスで極地の旅に彩を添えています。

5階にあるガストロノミックレストラン「NUNA (ヌナ)\*」にて、アランデュカス氏監修のディナーをお召し上がりいただけます。ワインは著名なソムリエがセレクトした100種類をご用意。特別なワイン以外は、追加料金なしでお楽しみいただけます。船内の各所にあるラウンジやバーでは、静かで落ち着いた雰囲気の中でのんびりお過ごしいただけます。  
\*イヌイット語で大地、地球



## より究極のサービスへ パーソナライズド バトラーサービス

航海中はスポーツコーチによるフィットネス、ヨガ、ピラティス、アクティブウォーキング、瞑想、アクアジムなど、幅広い選択肢のレッスンを、専用のメニューでご利用いただけます。

バトラーサービスは、オーナーズスイート、デュプレックススイート、プリビレッジスイート、グランドプレステージスイートをご利用のお客様にご利用いただけます。ご利用は、2日ごと1時間となります。プライベートレッスンは含まれていません。詳細については、船のフロントまたはトラベルコンシェルジュサービスにお問い合わせください。





## 上質さに包まれた あなただけの客室空間

極地探検から戻った心と体をリラックスさせてくれるのが、  
優雅で快適な客室です。  
柔らかな光が差し込み、  
木のぬくもりに包まれた空間で、  
ご自宅にいるようなリラックスした時間をお過ごしください。



オーナーズスイート

# WELCOME ABOARD





デュプレックススイート



デュプレックススイート



オーナーズスイートテラス



プレスティージステートルーム

# デッキプラン



**SHIP SPECIFICATION**  
ル コマンダン シャルコー

就航: 2021年  
総トン数: 30,000トン  
定員: 245名  
乗組員: 215名  
客室数: 123室  
全長: 150m  
全幅: 28m 6層  
アイスクラス: PC2  
船籍: フランス

- 9 レストラン「シラ」 / バー＆ラウンジ「パノラミック」 / フィットネス / スパ「ピオロジックルシェルシュ」(スノールーム、マッサージルーム、サウナ、ネイルショップ、美容院) / ウィンターガーデン / プール(室内・室外) / 屋外バー「イネク」 / ライブラリー
- 8 オーナーズスイート / デラックススイート:14室 / プリビレッジスイート:7室 / プレスティージステートルーム:18室(身体の不自由な方向け設備付き1室含む) (プレスティージステートルーム10室をプレスティージスイート5室に変更可能) / ブリッジ
- 7 デラックススイート:22室 / プレスティージステートルーム:30室 (プレスティージステートルーム24室をプレスティージスイート12室に変更可能)
- 6 デュプレックススイート:4室 / グランドプレスティージスイート:2室 / デラックススイート:14室 / プレスティージステートルーム:23室(身体の不自由な方向け設備付き2室含む)
- 5 ガストロノミックレストラン「ヌナ」 / シアター / メインラウンジ / シガーラウンジ / ショップ / レセプション / エクスペディションデスク / 映像 & 写真デスク / クルーズセールスデスク / プロムナードデッキ / AFTブリッジ
- 4 診療室
- 3 左舷と右舷に2つのエクスペディション用乗降ルーム / 会議室

■ オーナーズスイート	■ グランドプレスティージスイート デッキ6	■ デラックススイート デッキ6-7-8
■ デュプレックススイート	■ プレスティージスイート デッキ7-8	■ プレスティージステートルーム デッキ6-7-8
■ プリビレッジスイート デッキ8		

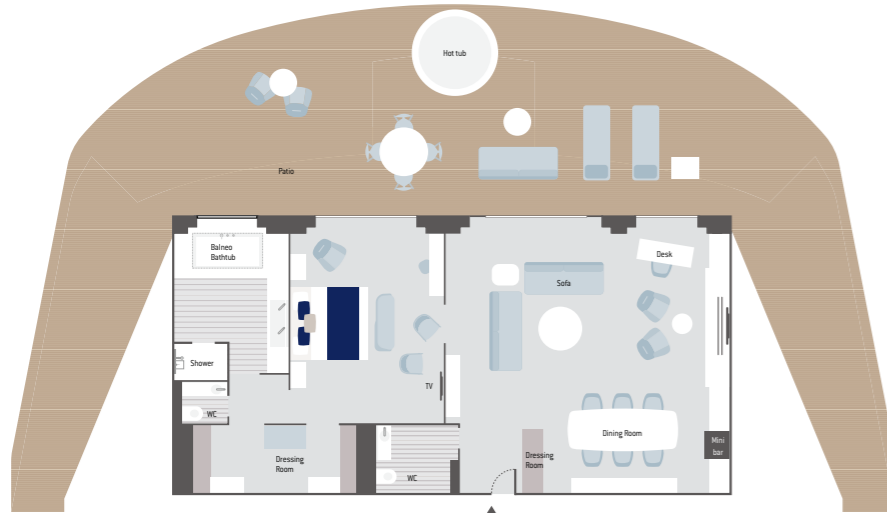


## 客室紹介

### ル コマンダン シャルコー

#### オーナーズスイート

115㎡+ジャグジー付きプライベート・テラス186㎡



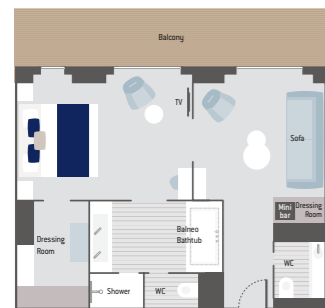
#### デュプレックススイート 4室

94㎡+ジャグジー付きプライベート・テラス26㎡



#### プリビレッジスイート 7室

48㎡+プライベート・バルコニー12.5㎡



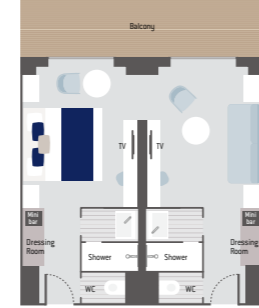
#### グランド プレステイジスイート 2室

42㎡+プライベート・バルコニー5㎡



#### プレステイジスイート 17室

40㎡+プライベート・バルコニー10㎡



#### プレステイジステートルーム 71室

20㎡+プライベート・バルコニー5㎡



#### デラックススイート 50室

28㎡+プライベート・バルコニー5㎡



### 客室設備

- 全キャビン: プライベート・バルコニー 付き
- デュプレックススイート / オーナーズスイート: テラス付き
- オーナーズスイート / デュプレックススイート / プリビレッジスイート / グランド プレステイジスイート: パトラーサービスと優先搭乗サービス
- エアコン(各室で調整可能)
- キングサイズベッド / ツインベッド、コネクティングルームあり
- 衛星テレビ(航海の状況によっては使用不可なタイミングがあります)
- ビデオオンデマンド
- セーフティーボックス
- ディープティック・パリのシャンプー、ボディーソープなどのバスルームアメニティ
- ドレッサー、バスロープ、ヘアドライヤー
- 電話(外部から直通で繋がります)
- 110V 電源(A型、2フラットピン) / 220V 電源(C型、2丸ピン)
- 24時間ルームサービス
- インターネットアクセス(Wi-Fi)
- ミニバー
- Bluetoothスピーカー(Bose™)

### パブリックエリア

#### レセプション

レセプション / エクスペディションデスク / ショップ / 映像 & 写真デスク

#### ラウンジ

- メインラウンジ  
メインラウンジ / シガーラウンジ / ティー・ルーム & バー(特定日夜に音楽の生演奏があります)

#### 展望ラウンジ

展望ラウンジ / ライブラリー、読書エリア / ライブ・エンターテインメント(特定日夜に開催します)

- 屋外バー「イネク」: バリエティに富んだ洗練されたスイーツや食事を提供します

- デトックス・バー: ソファ、アームチェアを完備しています。

- 焚き火台: 極地の風景を暖かな火のある快適な環境でお過ごしいただけます。

#### レストラン

- ガストロノミックレストラン「ヌナ」

朝食・昼食・夕食の提供 / フランス料理と世界各国の料理をご提供しています。 / 高級ワインセラーを完備しています。

- レストラン「シラ」

収容人数(屋外グリルエリア): 62名  
収容人数(屋内エリア): 142名 / 朝食、昼食ピュッフェ、テーマ別ディナーを提供するカジュアルスタイルのレストランです。

#### レクリエーション / リラクゼーション

- プロムナードデッキ

5階のプロムナードデッキは、途切れることなく船首から船尾まで続いています。

- エクスペディションゾディアック: 14隻

- エクスペディションルーム、会議室

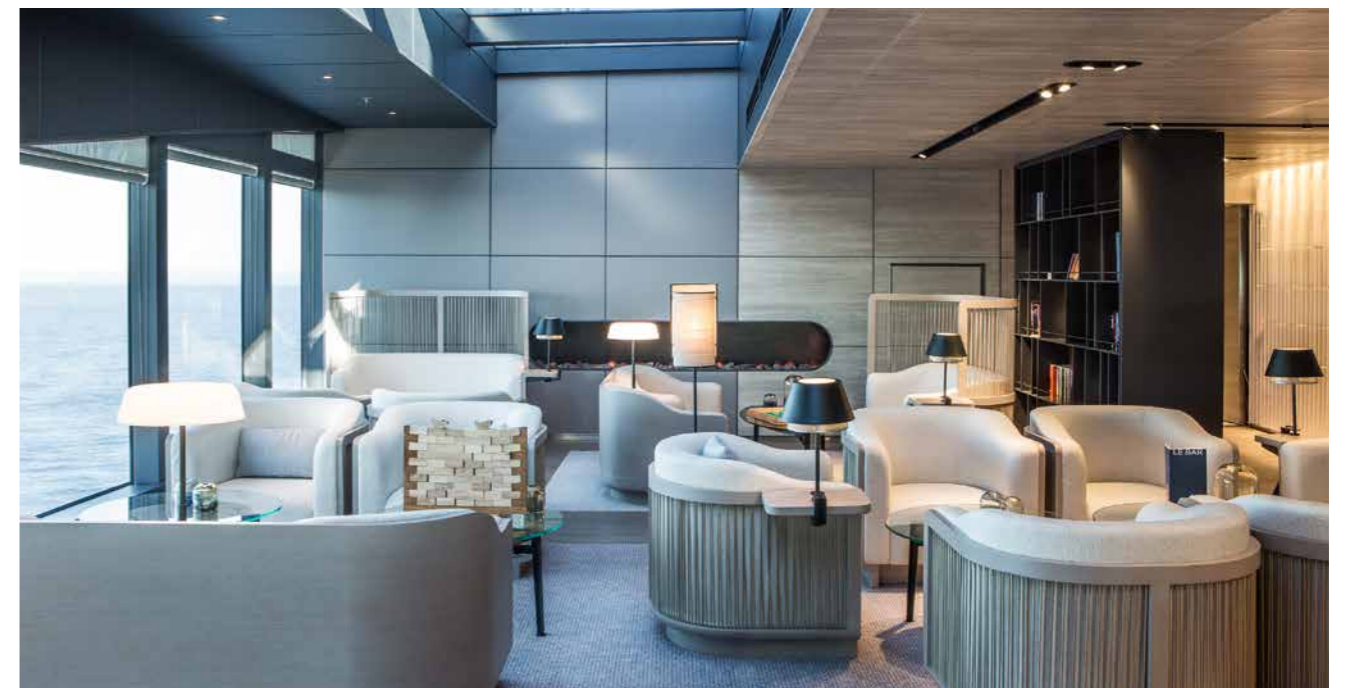
- ウェルネス・エリア

スパ「ピオロジックルシェルシュ」(スノー・ルーム、マッサージルーム、サウナ、ネイルショップ、美容院) / ヘアサロン(ダヴィネス製品使用) / サウナ / スノー・ルーム / ジム(ジム担当コーチ付き)

- プール・エリア

逆流防止装置を備えた屋内温水プール(光が差し込む大きな天窓あり) / 外に面した大きな窓を備えたサン・ルーム / デトックス・バー(ソファ、アームチェアを完備しています。)

- シアター収容人数: 270名 / ライブラリー





## 極地でのアクティビティ

カヤックやウェットスーツを着ての極地ダイビング、ゾディアックボートでの探検、犬ぞり。多種多様なアクティビティとともに、北極・南極という極地の世界をご堪能いただけます。

エクスペディションリーダーやナチュラリストガイド、ポナンの専門知識の全てを注ぎ込んだ最高のチームが、あなたの冒険の旅をサポートします。極地の世界にどっぷりと浸かり、思う存分お楽しみください。





## 最高のチームとともに 冒険の旅へ

約20名の各分野の専門家たちで編成されたエクスペディションチームが、  
あなたの旅をより素晴らしいものへ導きます。

### エクスペディションリーダー

極地旅行の知識と経験が豊富な彼らが、ソディアックボートでの遊覧や寄港地での上陸時に、変化する状況を先読みし、野生動物やその瞬間しか見ることができない風景との出会いなど、最高の機会を皆様にお届けします。



### エクスカージョンマネージャー

上陸行動中の全ての活動がスムーズに進むよう、調整役として活躍します。



### アクティビティガイド

各分野で長年の経験を持つ専門家。アクティビティに同行し、お客様の安全を守るだけでなく、皆様の極地での体験が最高なものとなるためのサポートをします。



### ナチュラリストガイド

#### 気候学、雪氷学、地質学専門家

アントワン ヴィオ（スバルバル専門の地質工学者）、ジュリアン アレックス（雪氷学者・気候学者）

極地での気候変動や氷山の形成、流水の浮かぶ海。まだ解明されていないことが多い極地の自然について、その謎と魅力を紹介しします。

#### 野生生物専門家

ホッキョクグマ、クジラ、イルカ、極限環境に適応し生きる数々の動物についてベンジャミン ディ（北極の野生生物・哺乳類専門家）、ローラ ジョルダン、エルサ フレシェ（ともに海洋生物専門家）が解説します。

#### 歴史家

冒険家たちの残した歴史は、今を生きる私たちを極地の旅へ取り立てます。ジェニファー ルー、ディミトリ ツヴェル、サスキアトラヴェル、クリスティアン ジェニラルは極地の冒険とポナンのエクスペディションをより深いものとする歴史家です。

#### 鳥類学

キョクアジサシや皇帝ペンギンをはじめとした極地で生きる野鳥の翼や羽毛の特徴、色の付き方などを鳥類学者のヴァディムホーカーとレミイビジョノーが解説し、その魅力に迫ります。

#### 科学コーディネーター

世界的な科学研究活動の一部にお客様が参加できるのもポナンの旅の魅力のひとつです。ダフニ ベリオン（氷河学者）とアリソン ティフリ（地政学専門家）がその活動をサポートします。



\* エクスペディションチームのメンバーは、訪れる時期や地域によって変更されます。





氷に覆われた極地に到達できる  
ルコマンダンシャルコーの旅だからこそ  
体験できるアクティビティ



## 先住民族イヌイットの犬ぞりを体験

北極圏では、この地に暮らすイヌイットたちの大切な移動手段として使用されている犬ぞりを実際に体験することができます。

優れた能力を持つ犬たちのチームワークを実感できるだけでなく、犬ぞりを操縦する「マッシャー」の目線で、この地を駆け抜ける感動体験が待っています。

### 古代の交通手段 犬ぞりの歴史

犬ぞりは、地球上で最も寒冷な地域に暮らす先住民族イヌイットによって約9000年前から使用されていたと言われています。犬ぞりによって、雪原を長距離移動することが可能となり、荷物等の運搬効率も飛躍的に上がりました。19世紀以降はスポーツとしても発展し、現在では世界で5つの主要なレースが開催されています。

### 犬ぞりの魅力

そりを操縦する「マッシャー」と犬たちとのチームワークが重要な犬ぞり。マッシャーは犬ぞりを「運転」するだけでなく、犬たちを世話し、理解しながら相互の信頼関係を築いていきます。犬の並べ方には、扇方に並んで走る「ファンタイプ」と、縦に並んで走る「ラインタイプ」がありますが、極地では犬の体重を分散させ、極端な気象条件やクレパスなどの危険性の高い地形を走るのに適したファンタイプが採用されます。長い歴史の中で作り出されたシステムが、イヌイットの生活を支えています。

#### 犬ぞり

- ・ 実施：グリーンランド東部の犬ぞりシーズン
- ・ 定員：20～30名様まで（そり1台につきお2人まで。イヌイットのドライバー兼ガイドが同乗します。）
- ・ 事前にご予約が必要です。
- ・ このアクティビティへは無料でご参加いただけます。





## 雪の上でも 自由に動くことができる スノーシューハイキング

足にスノーシューを付け体重を分散させることで、どんなに雪の深い場所でも動きまわることができます。動物の足跡以外、痕跡が一切ない、どこまでも続く真っ白な楽園を思いっきり楽しむことができます。



### スノーシューハイキング

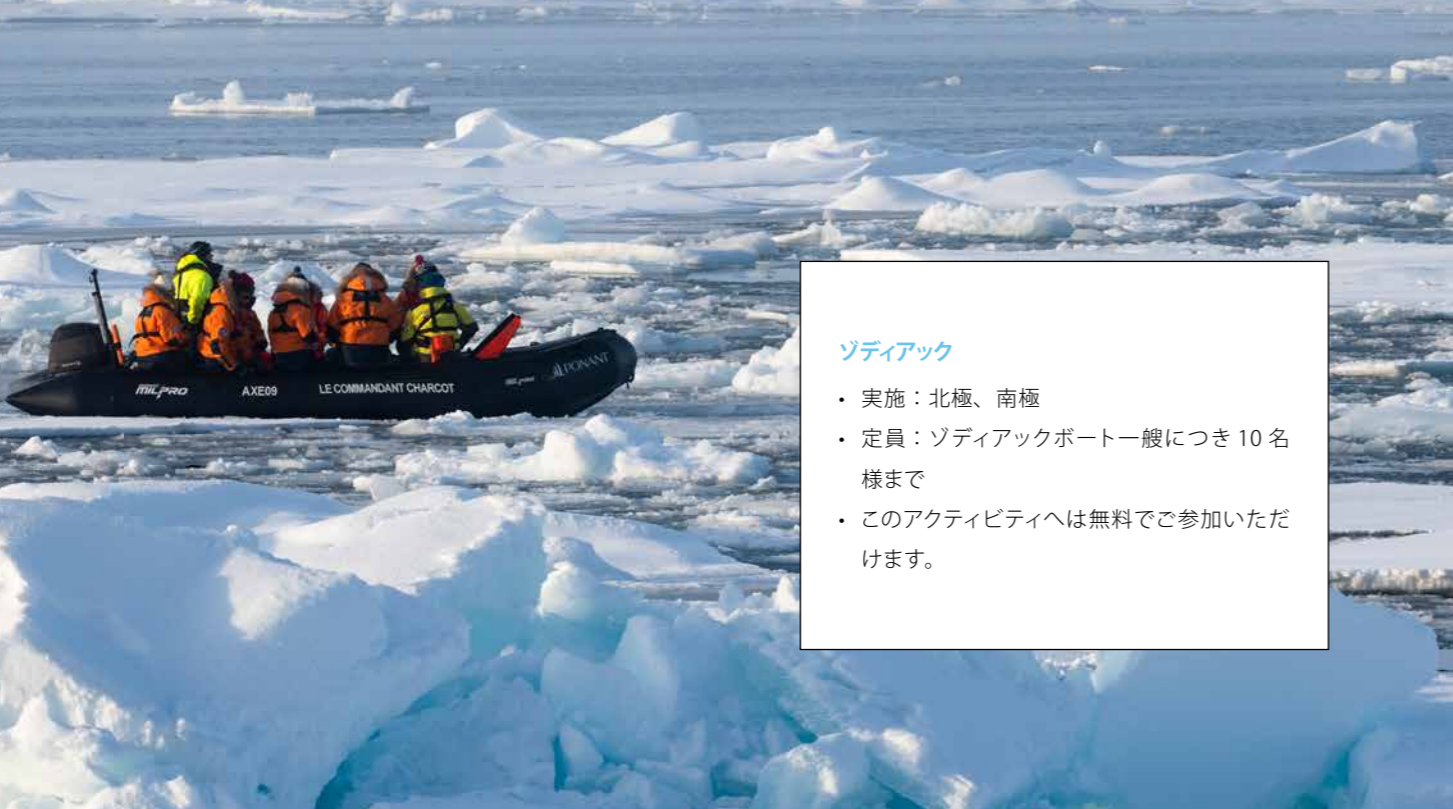
- ・実施：北極、南極（1月からシーズンの終わりまで）
- ・定員：20名様まで
- ・このアクティビティへは無料でご参加いただけます。
- ・ブーツ、ハイキングスティック、スノーシューなどの装備は貸し出しいたします。



## 極地の魅力に触れる 数々の体験をあなたに

## ゾディアックボートで 極地を探検する

巨大な氷河から氷山が切り出される迫力を全身で感じ、流氷の上でくつろぐシロクマと出会い、アザラシ、アシカ、ペンギンを間近で観察する——忘れられない瞬間が次々と訪れます。



### ゾディアック

- ・実施：北極、南極
- ・定員：ゾディアックボート一艘につき10名様まで
- ・このアクティビティへは無料でご参加いただけます。

極上の自然環境に身をゆだね、特別な思い出を作りましょう。氷上釣りや氷の浮かぶ極海に水着で飛び込むこともできます。冷たさが気になる方は、顔以外を覆うサバイバル防水ポーラーズーツを着て海に入るコールドウォータースイミングもおすすめです。



### 氷上釣り

- ・実施：北極圏の初期シーズンのみ
- ・定員：10名様まで
- ・このアクティビティへは無料でご参加いただけます。
- ・釣り竿、ルアーなどの装備は貸し出しいたします。

### ポーラーブランチ（極海ダイブ）

- ・実施：北極、南極
- ・定員：一度にお一人まで
- ・このアクティビティへは無料でご参加いただけます。
- ・専用ハーネスの着用をお願いいたします。

### コールドウォータースイミング

- ・実施：北極、南極
- ・定員：10名様まで
- ・事前にご予約が必要です
- ・このアクティビティへは無料でご参加いただけます。
- ・サバイバル防水ポーラーズーツを貸し出しいたします。



## 北極

ル コマンダン シャルコーで北緯 90 度の北極点を目指す旅はまさに「一生忘れられない思い出」になることは間違いありません。多くの冒険家が目指した伝説の北西航路の旅が現代に蘇ります。ふつうの旅行ではアクセスできないグリーンランド北東部海岸で、厳しい環境に暮らす野生動物に出会い、伝統を守る先住民族の人々から自然との共存を学ぶことができる、世界にここだけの旅をお楽しみください。



LE COMMANDANT CHARCOT

— 初の北極圏クルーズ —





## 北極を知るための4つのポイント



### 習慣

グリーンランドは先住民族の狩猟権が確立された、世界でも数少ない場所のひとつで、アザラシやクジラの狩りの文化が残っています。これにより先住民族の人々は、伝統を継承し、輸入に依存することなく食料を確保することができます。



### 時間

地球上では現地時間が経度により決まりますが(日本ではUTC+9)、北極点は経度が存在しないため時間の基準が存在していません。北極を訪問する人は慣例でグリニッジ標準時(UTC+0)を使用しています。



### 神話と伝説

クジラの骨やセイウチの牙で作られた高さ10cmほどの小さな像「トゥピラク」。セイウチ、クマ、アザラシ、人間などいろいろな生き物の形をしています。これはグリーンランド・イヌイットの悪霊像で、シャーマンが人を呪い殺すために作り出す彫刻でした。

独特な造形が美しく、今では人気のお土産物のひとつです。



### 世界種子貯蔵庫

大規模な気候変動や自然災害に備えるため、スピッツベルゲン島の永久凍土深くに「スヴァールバル世界種子貯蔵庫」が設立されました。2006年以降、貴重な農作物の原種や野生種を世界中から収集し、それらを最適な状態で貯蔵しています。





カナダのノースウェスト州に住むイヌイットの女性長老と女の子。  
クッロルシュアク／グリーンランド



## 北極圏の人々に出会う

現代のイヌイットは、祖先から受け継がれてきた生活様式を送りながらも、グローバル化の中で政治的、経済的、文化的に急速な変化を遂げてきました。変わりゆくものと、変わらないもの。今を生きるイヌイットの彩りある暮らしを訪ねます。

.....

### 北極圏の人々に出会う

ツンドラ地帯、森林限界以北の広大な永久凍土が広がり、年中寒冷な気候のこの場所に、さまざまな先住民族が暮らしています。国境線すらはっきりわからないこの極限の地に、人々ほどのような営みを持っているのか——ル コマンダン シャルコーのエクスペディションリーダーのジョナサン ザカリアが、これらの魅力的な人々に出会う旅にお連れします。

### 民族地理学の視点

ロシア（シベリア）、米国（アラスカ）、カナダ（北西およびヌナブト）、デンマーク（グリーンランド）、およびフィンランド、スウェーデン、ノルウェーの北部地域（スヴァールバル諸島を含む）の7カ国にまたがる地域にイヌイット、サーミ、ヤクートなどのさまざまな先住民族のコミュニティが存在します。現在、北極圏内に暮らす先住民族は約60万人といわれ、それぞれが独自の言語、文化、伝統を継承し、暮らしています。

### 人類移動の歴史

およそ20万年から30万年前にアフリカで誕生したといわれる人類は、その後アフリカを飛び出しユーラシア大陸を横断、ベーリング海峡を渡り極北の地アラスカに到達しました。地球が氷河時代を迎えた当時、シベリアから陸続きになっていた北米大陸ですが、人類がその地に到達するには3万年の歳月を要する、大移動でした。そしてその約1万年後に氷河期が終わり地球の温暖化が進むと、自然環境は大きく変化しました。人類は地域ごとに多様な環境に適応することになり、約4千年前にはグリーンランドやカナダの極圏でも定住を始めるようになりました。

### 生物学的な適応

他の生物同様に、環境に応じて進化した人間の体は極北の地ではそこで生きることができるよう変化してきました。体の大きさは気温と相互関係があるとされ、北極圏という寒冷地で進化した人々は、寒さに晒される表面積を小さくし、熱を保持するために背が低くずんぐりとした体型の傾向があります。海鳥をアザラシの中に詰めこみ発酵させる、イヌイットの伝統食品「キビヤック」などは、他の民族には有毒の可能性があります。この地で進化を遂げてきたイヌイットだから消化することができるのです。

現在、北極圏内に暮らす先住民族は約60万人といわれ、それぞれが独自の言語、文化、伝統を継承し、暮らしています。





## ルコマンダン シャルコーだからたどり着ける 北極圏航路

いざ、北極点を目指す航海へ。海氷に閉ざされた海と極点を囲む陸地にある広大な氷床と永久凍土。在りし日の探検家たちの軌跡をたどり、極寒の美しい景色と先住民族の人々、そしてたくましい動物たちの生き様と出会う旅です。

夢の北極点を目指すことも、探検家たちが命がけてたどった北西航路をめぐるコースを選ぶことも、どの旅でも、ロマンと感動に溢れる北極の絶景があなたを待っています。



北東グリーンランド国立公園の魅力堪能の旅

p. 54



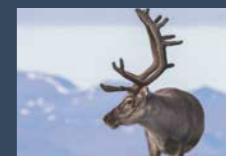
北東グリーンランドとスピッツベルゲン島を結ぶ極地探検

p. 55



スヴァールバル諸島での極地体験

p. 56



ノールアウストランネ島の探索へ

p. 58



探検家たちの夢「北西航路」

p. 59



新たな旅の可能性を求め 氷に閉ざされた  
グリーンランド東海岸をゆく

p. 60



北極点への冒険旅行

p. 62





Discovering the  
North East Greenland National Park

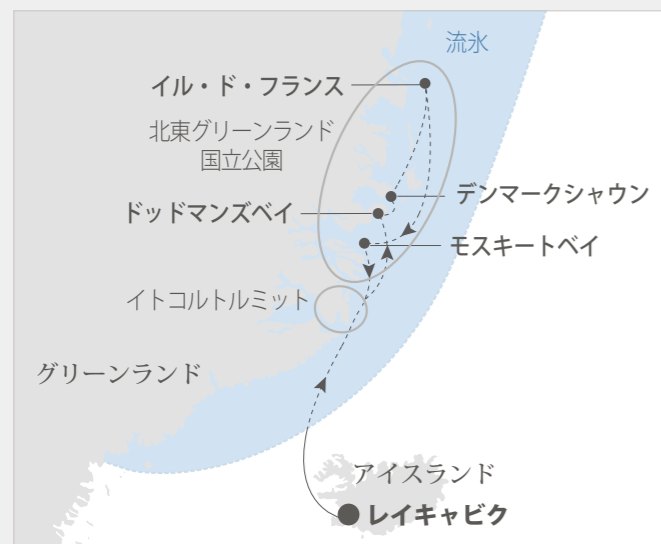
## 北東グリーンランド国立公園の 魅力堪能の旅

レイキャピク (アイスランド) 発着

12泊13日

ル コマンダン シャルコー: 2022年5月10日、5月22日

大人お一人様クルーズ代金: 16,730€~



極北——地球上で最もアクセスが難しい地域の一つであるといわれるグリーンランド北東海岸を、氷や雪が残る厳しい初夏の息吹の中でめぐります。レイキャピクを出航した本船は、グリーンランドにある小さな村イトコルトルミットへ到着し、極地最後のハンターの生活にふれます。

ユネスコ生物圏保存地域に指定されている世界最大の国立保護区「北東グリーンランド国立公園」には人間の生活の痕跡は一切存在せず、見渡す限りの高山と力強い氷河が広がっています。訪れる時期はまだ、堅固で力強い氷が訪問者たちの前に立ちはだかることでしょう。それは同時に北極圏の野生動物を観察するには絶好の季節でもあります。運がよければ、狩りに最適な場所を探すために単独行動を行うオスのホッキョクグマや、子グマに生きる術を教える母グマの姿を目撃することができるでしょう。国立公園北側には、1905年にオルレアン公が到達した地「イル・ド・フランス」が北極からの厚い流氷に守られています。



そりの犬

### ハイライト

- ユネスコ生物圏保存地域に指定されている世界最大の国立公園「北東グリーンランド国立公園」へ出かけましょう。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- 氷が広範囲に連なる中で、イヌイットの人びとと春の伝統行事を執り行う特別な時間を共有します。
- ノルウェー人猟師により作られた狩猟小屋の見学へ出かけましょう。
- 山、フィヨルド、美しい稜線、氷河、流氷、切り立った崖、極地の氷冠などの特別な風景をゆくクルーズライフをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、イッカク、アザラシ、ジャコウウシ、ホッキョクギツネ、ホッキョクウサギ、シャチ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。



2022年5月10日に出発するクルーズは、  
ナショナルジオグラフィックとのコラボレーション企画です。

Polar Odyssey between  
North East Greenland & Spitsbergen

## 北東グリーンランドと スピッツベルゲン島を結ぶ 極地探検

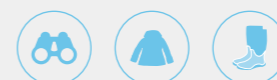
レイキャピク (アイスランド) 発 ▶

ロングイェールビーン (スピッツベルゲン島) 着

12泊13日

ル コマンダン シャルコー: 2022年6月3日

大人お一人様クルーズ代金: 18,700€~



クルーズ代金に含まれるもの:

空港送迎、ロングイェールビーン-パリフライト



従来のクルーズ船では立ち入ることのできないこの地域の初夏に、グリーンランドとその東海岸にあるスコアズビー湾を目指すクルーズです。厳しい季節でありながら神秘的な雰囲気に満ちた氷の世界のど真ん中で、イヌイットの地と深く結びついたフランス人極地探検家ジャン パティスト シャルコーの航跡をたどります。

「北東グリーンランド国立公園」では、美しい色をした高山と圧倒的な氷河の風景の中に、猟師により作られた狩猟小屋を見つけることができるでしょう。運が良ければ地平線に様々な野生動物の姿を見ることができるともかもしれません。

グリーンランド海を横断して北西スピッツベルゲン国立公園へと北上します。かつてはこの地に多くの猟師が集まり鯨類、セイウチなどを狩猟していました。今ではその猟師者の墓地だけが残り、逆に多くの野生動物が回復し生息しています。旅の終盤には、国際的研究拠点であり多くの北極点探査の出発点となった鉱山都市ニールセンのコングス・フィヨルドの氷河をご堪能ください。



流氷上のセイウチ (スヴァールバル諸島)

### ハイライト

- 雄大な自然に囲まれたグリーンランド北東部とスピッツベルゲン島を結ぶ、新しいエクスペディションです。
- ゾディアックボートやホバークラフトに乗り込みでの海上ツアーや上陸をお楽しみください。
- 氷が広範囲に連なる中で、イヌイットの人びとと春の伝統行事を執り行う特別な時間を共有します。
- ユネスコ生物圏保存地域や世界最大の国立公園では、極北の地での春の訪れを体感します。
- スピッツベルゲン島の壮大なフィヨルドや流氷の間を航行していきます。
- 山、フィヨルド、流氷、氷河、切り立った崖、極地の氷冠に囲まれた空間に身を置いて堪能する時間は格別です。
- ホッキョクグマ、イッカク、アザラシ、ジャコウウシ、ホッキョクギツネ、ホッキョクウサギ、セイウチ、シャチ、スヴァールバルトナカイ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。



NEW

Polar Immersion in Svalbard

スヴァールバル諸島での  
極地体験

ロングイェールビーン（スピッツベルゲン島）発着

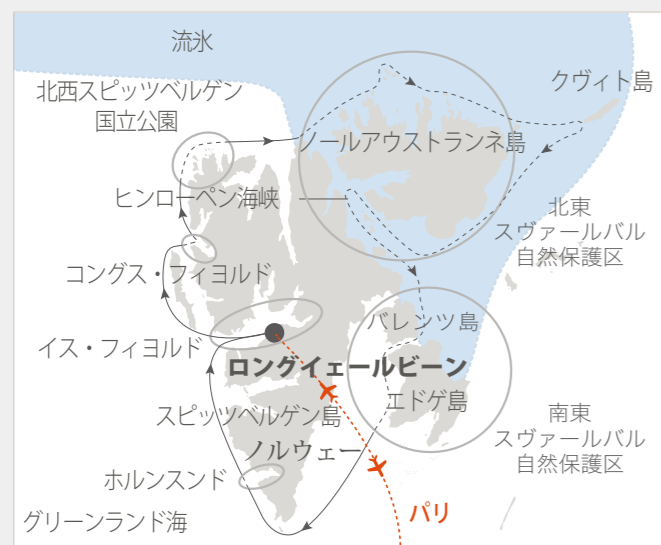
10泊11日

ル コマンダン シャルコー：2022年6月28日

大人お一人様クルーズ代金：18,780€～

クルーズ代金に含まれるもの：

空港送迎、パリーロングイェールビーン往復フライト



ル コマンダン シャルコーは、従来のクルーズ船ではこの時期には立ち入ることのできない海域へと到達し、辺境のスヴァールバル諸島を航海します。ヨーロッパ最大の氷冠と氷の風景が彩るフィヨルドをご堪能ください。ホッキョクグマの王国では運が良ければ母グマが子グマに狩りと生存の秘訣を教える場面に出会えるかもしれません。

スヴァールバル諸島の最東端に位置するクヴィト島は、全体が氷に覆われた真っ白な島で、セイウチが多数生息しています。またヒンローベン海峡を航行する中では玄武岩でできた小島や雄大な氷河が織りなす素晴らしいパノラマが楽しめます。ノルウェーで2番目に大きな保護区である南東スヴァールバル自然保護区は全体が氷に覆われた殺伐とした外観の下に、実に豊かな動物相が隠されています。ここは重要鳥類生息地に指定されているほか、様々な種類のクジラやスヴァールバルトナカイ、ホッキョクギツネなどの生息地でもあります。北緯80度に到達するまで、忘れられぬ瞬間で埋め尽くされているクルーズです。



トナカイ(スピッツベルゲン島)

## ハイライト

- スヴァールバル諸島の手つかずの自然が残されているエリアを航行していきます。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- ヨーロッパ最大の氷冠を持つ氷の大地ノールアウストラネ島と白い島・クヴィト島の探索へ出かけましょう。
- 南東スヴァールバル自然保護区の探索も楽しみです。
- スピッツベルゲン島とノールアウストラネ島の間にあるヒンローベン海峡を航行します。
- 流水、冰山、氷冠、美しい稜線を持つ山、深い谷、切り立った壁、巨大な氷河の間をゆくクルーズライフをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、ホッキョクギツネ、スヴァールバルトナカイ、キョクアジサシ、アザラシ、セイウチ、クジラなどとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。

## スヴァールバル諸島の野生動物

年間を通して風が強く、気温が10℃を超えることがほとんどない厳しい環境のスヴァールバル諸島。

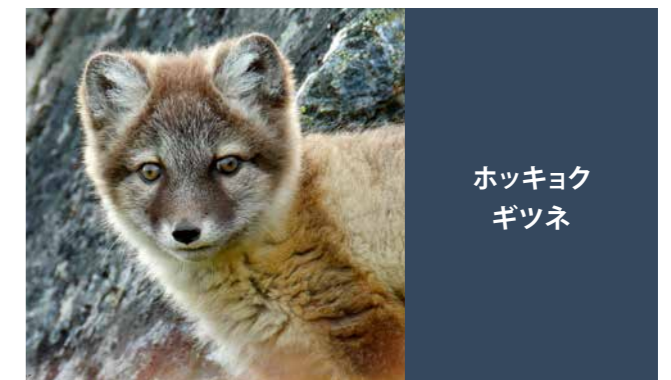
その環境に適応した、ホッキョクグマに代表される多くの生物が生息しています。



セイウチ

オスの体長は270～320センチメートル、体重は800～1700キロで、メスはこの半分ほど。全長1メートルの大きく長い牙が特徴です。この牙はホッキョクグマに対抗するときや、メスをめぐったオス同士の争いなどで、主に武器として使いますが、冰山や岩を登る際にピッケルのように入れたり、海底に突き刺して前進するのにも役立っています。何千匹もの大規模な群れを形成し、氷を追って移動します。

体長50～100センチメートル、体重3～8キロの肉食動物で、樹木がなく気温が摂氏マイナス50度にもなる極寒のスヴァールバル諸島に適応した毛深い足や短い耳と鼻を持っています。毛色は、夏はツンドラの大地に溶け込むように背面が褐色から黒褐色、腹面は白色や黄色を帯びた白色となり、冬には雪上で見えないように全身が真っ白になることから、ホワイトフォックスとも呼ばれます。毎年春に最大14匹も出産する多産動物です。

ホッキョク  
ギツネ

ミンククジラ

体長8～9メートル、体重6～8トンほどの、ヒゲクジラ亜目の中では2番目に小さい鯨種で、胸びれに白い帯があるのが特徴です。フィヨルドや氷床の端などの氷の下に潜り込み、氷の裏側をかすめるように泳ぎ、餌であるオキアミを食します。ミンククジラは南洋で最もよく見られるクジラですが、その生態はまだほとんど解明されていません。

厳しい寒さに耐えるための短い脚や厚い脂肪、太い蹄など、多くの適応力を備えています。オスのトナカイの角は夏に成長して、発情期のオス同士の争いが終わる11月になると生え変わる性質がある一方、メスは一年中、角を持っています。北極圏では主食である地衣類が豊富なため、大陸の他のシカ科の種と異なり、大きな群れを成しながら移動することはありません。

スヴァールバル  
トナカイ



## Exploring Nordaustlandet ノールアウストラネ島の探索へ

ロングイェールビーン (スピッツベルゲン島) 発着

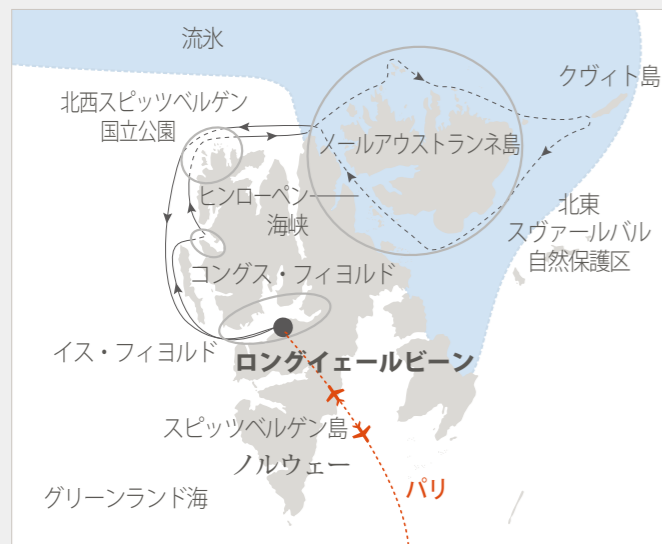
8泊9日

ル コマンダン シャルコー: 2022年6月15日

大人お一人様クルーズ代金: 14,650€~

クルーズ代金に含まれるもの:

空港送迎、パリーロングイェールビーン往復フライト



スピッツベルゲン島北部からノールアウストラネ島までの船旅。従来のクルーズ船ではこの時期にはアクセスできない僻地を探索します。

コングス・フィヨルドの壮大な風景を横切り、北西スピッツベルゲン国立公園を通過し、北東スヴァールバル自然保護区の海岸へと航海していきます。ヨーロッパ最大の氷冠と、この氷の風景を彩る印象的なフィヨルドを心ゆくまで堪能ください。ホッキョクグマの王国では、運が良ければ母グマが子グマに、狩りと生きていくための秘訣を教えている場面に出くわすことができるでしょう。航海はスヴァールバル諸島の最東端のクヴィト島を目指し、東へ東へと続きます。クヴィト島は島全体が真っ白な氷に覆われている土地で、セイウチの生息地です。ヒンローベン海峡を渡った先には、玄武岩の小島と海鳥のコロニー。セイウチ・ホッキョクグマ・ホッキョクギツネなどの豊かな海洋生態系を垣間見ること。

スヴァールバル諸島で最も印象的なフィヨルドのひとつであり、様々な種類のクジラが姿を見せることでも有名なイス・フィヨルドにも立ち寄ります。



ノールアウストラネ島の海岸でのバードウォッチング

### ハイライト

- 隔絶された土地として手付かずのまま残されたスヴァールバル諸島の豊かな自然に出会う旅です。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- 流氷に囲まれた空間に身をゆだねる特別な時間をご堪能ください。
- 氷の大地、ヨーロッパ最大の氷冠であるノールアウストラネ島を周遊します。
- 氷に覆われた真っ白なクヴィト島への航海へ出かけましょう。
- スピッツベルゲン島とノールアウストラネ島の間にあるヒンローベン海峡を航行します。
- 流氷、美しい稜線を持つ山、切り立った崖、巨大な氷河などの合間をゆくクルージングをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、イッカク、アザラシ、ジャコウウシ、ホッキョクギツネ、ホッキョクウサギ、セイウチ、シャチ、スヴァールバルトナカイ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。

## The Northwest Passage 探検家たちの夢「北西航路」

レイキャビク (アイスランド) 発 ▶

ノーム (米国アラスカ) 着

24泊25日

ル コマンダン シャルコー: 2023年9月11日

大人お一人様クルーズ代金: 34,710€~

クルーズ代金に含まれるもの:

ノームーシアトル間のフライト、空港送迎代



アイスランドからアラスカへ横断する特別なルートを、従来のクルーズ客船ではアクセスできない、迷路のような氷の海峡を渡って進みます。

別世界のように荒々しい大地が続くグリーンランドでは、イヌイットの集落を訪れ、野生の大地に力強く生きる人々に出会います。1848年に北西航路を探し流氷に閉じ込められ放棄された難破船「インベスティゲーター」。その残骸が2010年に時を越えて発見されたバンクスの島も航海します。ジャコウウシをはじめとした野生動物との出会いも楽しみです。

ヨーロッパを北西に進み最短でアジアを目指す「北西航路」の開拓は、氷山や海水に覆われた北極海で多くの困難に阻まれた冒険家の犠牲の歴史でもありました。東回り航路、西回り航路の発見から遅れること400年、20世紀に入り人類がようやく横断を成功させた夢の航路が現代に蘇り、あなたを未知の体験へと誘います。



### ハイライト

- 北極海を航行する北西航路は、氷山や海水に覆われた場所でも移動ができるル コマンダン シャルコーの象徴的な船旅です。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- フューリー&ヘクラ海峡など魅力あふれる北西航路のハイライトをめぐり、伝統的な暮らしを継承するイヌイットの集落を訪れます。
- 世界最大規模のジャコウウシの生息地としても有名な、バンクスの島にあるオーラビク国立公園を探索します。
- 山、フィヨルド、美しい稜線、氷河、流氷、切り立った崖、極地の氷冠などの特別な風景をゆくクルーズライフをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、イッカク、ホッキョクギツネ、ベルーガ、セイウチ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。



At the genesis of the  
French polar expeditions

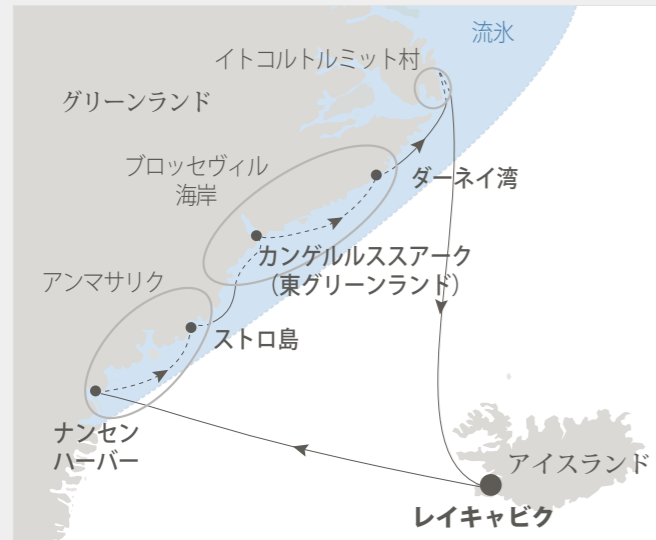
## 氷に閉ざされたグリーンランド 東海岸をゆく

レイキャビク (アイスランド) 発着

10泊11日

ル コマンダン シャルコー:2022年4月30日

大人お一人様クルーズ代金:16,000€~



厚い氷の層が海岸への侵入を防ぐグリーンランド東海岸にも、ル コマンダン シャルコーは入って行くことが可能です。通常の観光ルートから遠く離れ、真の探検家と科学者だけが訪れるようなこの場所は、かつてジュールド・ブロスヴィル、ジャン・バティスト・シャルコー、ポール・エミール・ヴィクトルといった、数々の探検家たちが航海した地です。

クルーズのシーズンは淡い色を絵の具で引いたような空が広がる白夜の体験も待っています。巨大な氷河や複雑な入江を持つフィヨルドを遊覧しながら、グリーンランド東部最大の町・タシーラクを訪れます。さらに北上し、グリーンランド国立公園の近く、グリーンランドで最も孤立した町と呼ばれるイトコルトルミット村を訪問。ここでは、1年のうち約9ヶ月間、海氷が町への船でのアクセスを妨げているイヌイットたちのコミュニティです。氷の世界の奥深くにある、静かで平和な世界。その静けさの中で暮らす多くの野生動物たちの息づかいに驚かされることでしょう。



ゾディアックボートツアー

### ハイライト

- 雪と氷に閉ざされたグリーンランド東海岸は通常の観光ルートからは遠く離れていて、観光として訪問する難易度が高い地域です。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- イヌイットの集落を訪れ、伝統的な春の風物詩を習います。イヌイットの伝統的な移動手段犬ぞりの体験もお楽しみください。
- 北極から流れてくる氷冠の美しさをお楽しみください。
- 山、フィヨルド、美しい稜線、氷河、流氷、切り立った崖、極地の氷冠などの特別な風景をゆくクルーズライフをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、イッカク、ホッキョクギツネ、ペルーガ、セイウチ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。



## 雪と氷の世界の町

グリーンランド東海岸にある小さな町タシーラクにはグリーンランド東部の町としては最大の約1,800名の人々が暮らしています。ほど近い場所にエチ氷河があり、ここには1948年に設立されたフランスの極地探検隊が使用するためのベースキャンプがあります。





NEW

## The Geographic North Pole 北極点への冒険旅行

ロンギェールビーン（スピッツベルゲン島）発着

15泊16日

ル コマンダン シャルコー：

2022年7月8日、7月23日、8月7日、8月22日\*

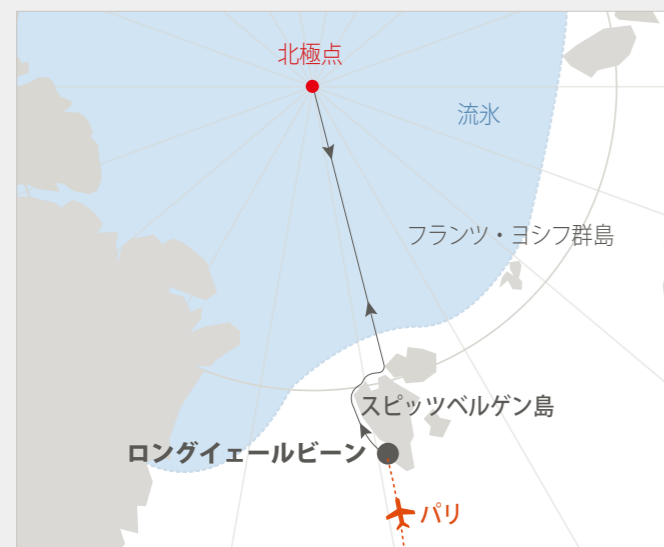
2023年7月27日、8月11日、8月26日

\*レイキャピクで下船

大人お一人様クルーズ代金：33,700€～

クルーズ代金に含まれるもの：

空港送迎、パリーロンギェールビーン往復フライト



北緯 90 度。このユニークな船旅で目指すのは北極点です。一年中浮氷に覆われた神秘的な北極点は、あらゆる陸地から 700km 離れた地点に位置する最果ての場所。何世代にもわたる探検家が時代を越えて魅了された地でありながら、これまで到達できた人間はほんの僅か。スピッツベルゲン島を出発した本船が、氷と光の加減により常に変化をしていく壮麗な風景の中を航行する時間は、この時期最も豊かで活動的なときを迎えている自然と、数々の野生生物を観察するのに最適で贅沢な時間となるでしょう。

極地探検家の聖杯である北極点を目指し、船長が流氷の中を注意深く船を進めます。陸地のない北極点——浮氷は潮の流れと風により常に流動しているため、北極点では船も常に動いていなければなりません。



スピッツベルゲン島の流氷

### ハイライト

- 北極点を航海する、貴重な体験が待っています。
- エクスペディションチームやナチュラリストガイドとゾディアックボートに乗り込み、大自然に囲まれた特別な時間をお過ごしください。
- 流氷、冰山、氷冠、美しい稜線を持つ山、深い谷、切り立った壁、巨大な氷河の合間をゆくクルーズライフをお楽しみください。
- ホッキョクグマ、ホッキョクギツネ、スヴァールバルトナカイ、キョクアジサシ、アザラシ、セイウチ、クジラなどとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。



## 北極圏の覇者と地球の未来

北極圏のシンボルであるホッキョクグマは、地上最大の肉食動物です。約 60 万年前、北極圏周辺のヒグマに似た祖先が、寒冷な気候へ適応したホッキョクグマへと進化しました。その北極圏陸上の生態系ピラミッドの頂点にいるホッキョクグマも、昨今の気候変動に伴う影響によりその生存が脅かされています。ホッキョクグマの生存危機は、この地域の生態系全体の悪化を意味しています。





## 南極

視界いっぱいに壮大な氷原が広がる白い大陸、南極。その青と白の世界は驚きと発見に満ちあふれています。ここだけで見ることができる野生動物や自然現象の数々は、私たちが暮らす地球という星の、ありのままの美しさを全身で感じることができる唯一無二の場所です。

ジャン バティスト シャルコー、アーネスト シャクルトン、ロアール アムンセンなど、人跡未踏の地を開拓してきた多くの冒険家の手により、この南極は今、世界各国の科学的探求の拠点となっています。ル コマندان シャルコーでゆく南極クルーズで、地球のありのままの姿、人類のこれまでと未来を体感する旅へ出発しましょう。



## 南極を知るための4つのポイント

### 南極の自然を守るために

ナチュラリストガイドが上陸中の指示を行います。下船時は、外来種の持ち込みによって南極の生態系に影響を及ぼさないよう、衣服や靴底をきれいにクリーニングして上陸します。動物の近くでは、ゆっくり静かに移動して、観察します。エサを与える、追いかける、触ることはできません。また、植物、化石、動物の毛、骨など一切持ち帰ることはできません。食品の持ち込みも禁止されているため、食事はル コマンダン シャルコーの船内となります。



### 「氷の歌」が流れる不思議な世界

2018年、米コロラド大学などの学者の研究により、南極ロス棚氷では降り積もった万年雪の表面が、融解と吹き荒れる風によって振動し、音を発していることがわかりました。この音の周波数はとても低く、録音を1,200倍速にすることで人間にも聞こえるようになり、この棚氷が奏でる歌を聞くことができます。

Listen:



### 用語集

**吠える40度、狂う50度、叫ぶ60度**：これらの緯度には大陸がなく大洋が広がっているため強風が吹きやすく、それぞれの緯度帯での強風は吠える、狂う、叫ぶ、と例えられています。

**棚氷**：陸の上にあった氷床が、海に向かってゆっくりと滑り落ち、やがて海の上に押し出されます。そのときに、割れないまま海に張り出した部分が棚氷となり、厚さ・幅とも

### 新発見と解明されていない謎

衛星画像の撮影が発達し、南極大陸の雪と岩に囲まれた場所に巨大な穴が発見されました。「南極には宇宙人の基地が隠されている」ともささやかれています。米国の地球物理学者はこれは「巨大隕石の衝突した跡」と分析しています。同規模のクレーターは、火星や月では観測されていますが、地球上では珍しく、実態は謎に包まれています。

### 南極条約

南極条約は、科学的調査の自由と南極の平和的利用を主たる目的として1959年に定められ、日本を含む世界12カ国が調印し1961年に発効されました。現在の南極条約締約国は54ヶ国にのびます。

条約は14条で構成され、「南極の平和目的利用（第1条）」「科学調査の自由（第3条）」「領土権の凍結（第4条）」「核実験の禁止（第5条）」などが主たる項目です。

数100メートルにも及びます。棚氷が割れて、海に流れ出したものはテーブル型氷山となります。

**氷床**：南極大陸は最大1キロにも及ぶ厚い氷に覆われています。このように、広い土地を覆う厚い氷を氷床といいます。南極の氷床は、大陸に降り積もった雪が、長い年月をかけて厚い氷になったもの。氷床は南極のほかには、北極の近くのグリーンランドにも存在しています。





## 南極、数々の発見と 多くの謎を秘めた大陸

大陸の98%が氷に覆われる南極。海に浮かぶ氷なのか、はたまた陸地があるのか——1820年の発見まで、そこは“テラ・アウストラリス・インコグニタ”（未知の南方大陸）と呼ばれていました。大陸発見以来、この地でいくつもの科学的発見がなされ、地球で起こった80万年以上もの期間の気候変動の歴史が紐解かれています。夏場には約4,000名、冬場には1,000名ほどの研究者が滞在し日夜研究を続けていますが、南極大陸は広大で探求すべきことがまだまだ残されています。市民科学活動に力を入れているポナンでは、ル・コマンダン シャルコーで訪れた皆様にこの大陸の未知への探査の門戸を開いています。エクスペディション・チームとともに、アクティビティに参加していただき、より深くこの地を理解することが南極研究の新たな一歩へとつながり、その結果いかにこの地球が美しく、力にあふれているかということを再認識することができます。それはポナンが大切にしている、旅をする皆様に地球環境の保全の必要性を意識していただきたいという思いへとつながります。

南極を訪れると、多くの思いがけない体験をすることになります。どこの大陸からも遠く離れた場所にいるという現実——それはまるで地球にはじめて降り立ったかのような感覚です。南極を訪れた多くの人びとは「南極への旅は、自分を変えてくれた」と言っています。究極の場所へ訪れるこの旅は、未知なる地球の魅力の発見と、自分の人生の転機にもなる、そんな一生忘れられない経験となるでしょう。

ガーラック海峡と月





## 極限の地のその先へ 南極航路

ウェッデル海を航行し、ロス海を越えて、ラーセン棚氷の海へ。この世界の誰のものでもない、白い大陸「南極」が悠々とそびえ、多くの動物たちが自然の摂理の中で暮らしています。そしてそこは、名だたる極地探検家たちが伝説を刻んできた場所です。



ベリングスハウゼン海の皇帝ペンギンクルーズ

p. 72



南極圏 シャルコー島&ピーター I 世島への冒険旅行

p. 73



ロス海を越え、未踏の南極大陸を半周

p. 74



極限の緯度帯を進む、未踏の南極大陸半周の旅

p. 76



南極半島と知られざる

サウスサンドウィッチ諸島をめぐる旅

p. 77



南極の生物の楽園ウェッデル海

p. 78





The Emperor Penguins of  
Bellingshausen Sea  
ベリングスハウゼン海の  
皇帝ペンギンクルーズ

プンタアレナス(チリ) 発 ▶  
ウシュアイア(アルゼンチン) 着

14泊15日

ル コマンダン シャルコー:2022年10月30日

大人お一人様クルーズ代金:21,150€~

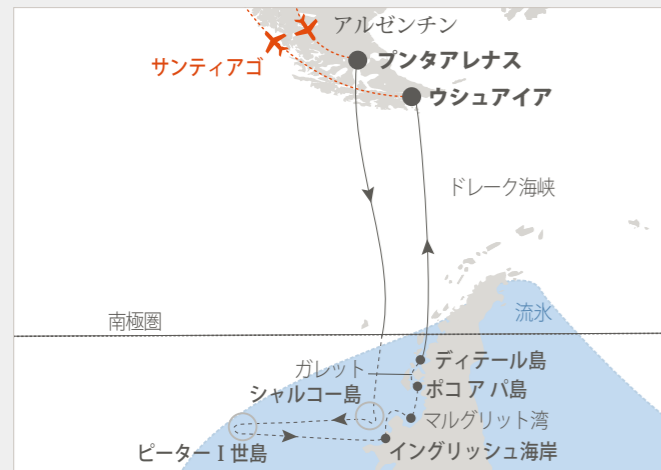
ウシュアイア(アルゼンチン) 発着

14泊15日

ル コマンダン シャルコー:2022年11月13日

大人お一人様クルーズ代金:22,130€~

クルーズ代金に含まれるもの:サンティアゴでの一泊、  
サンティアゴ発着のフライト代、往路送迎



ベリングスハウゼン海の中心、ピーター I 世島とシャルコー島を訪れます。1820年に南極大陸を発見したロシアの海軍大将で探検家のベリングスハウゼンから名付けられたこの海は、ほぼ1年中浮氷で覆われていて、たどり着くのが困難だった「未開の海」です。そのおかげで、南極の固有種であり、南極でも出会うことが難しい皇帝ペンギンの巨大コロニーが存在し、巨大な群れを観察することができます。雪と氷の世界があなたを取り囲む、どこまでも続く白銀の世界へとお連れします。



#### ハイライト

- 冬が終わる時期、巣立ちを迎える皇帝ペンギンを観察できる貴重な機会です。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- 極地の特有な自然や気象、海と陸の生態系などナチュラリストガイドによる講演会や解説も見どころです。
- 南極圏への玄関口、南米の2都市プンタアレナス(チリ)とウシュアイア(アルゼンチン)への訪問もお楽しみください。
- 氷河、冰山、棚氷などの特別な風景をゆくクルーズライフが待っています。
- 皇帝ペンギン、ザトウクジラ、アデリーペンギン、ウェッデルアザラシなどとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。

Expedition to Charcot & Peter I Islands

## 南極圏 シャルコー島 & ピーター I 世島への冒険旅行

ウシュアイア(アルゼンチン) 発着

14泊15日

ル コマンダン シャルコー:2023年1月2日

大人お一人様クルーズ代金:19,700€~

クルーズ代金に含まれるもの:サンティアゴでの一泊、  
サンティアゴーウシュアイア間のフライト代



南緯 66 度 33 分を越えて、南極圏へ。氷に覆われたピーター I 世島の風景を目の当たりにすると、「世界の果てに来た」という印象がいよいよ高まります。ベリングスハウゼン海に浮かぶこの小さな火山島は、南極大陸の海岸線から約 450 キロ離れているため訪れることが非常に難しい場所といわれています。島自体が発見されたのは 1821 年でしたが、氷に囲まれた島は接近や上陸が困難で、人類が初上陸を果たしたのは発見から 100 年以上が経った 1929 年のことでした。未だにこの島の頂上部分には誰も到達していません。ピーター I 世島を出発すると、その後流氷に覆われたベリングスハウゼン海を進みます。全体が氷に覆われたこの島の海岸線は、まるで城壁のようにそびえ立ち、空にはウミツバメやキョクアジサシ、トウゾクカモメ、陸上ではジェンツーペンギンなどの野鳥を観察することができます。

#### ハイライト

- まだほとんど訪れられていない、南極圏内の2つの島を訪れることができます。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- 極地特有の自然や気象、海と陸の生態系などナチュラリストガイドによる講演会や解説も見どころです。
- 氷河、冰山、険しい崖、雪をかぶった山頂などの特別な風景をゆくクルーズライフが待っています。
- ザトウクジラ、ジェンツーペンギン、ウェッデルアザラシなどとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。





From Dumont d'Urville to Mawson:  
retracing Heroic Age expeditions

## ロス海を越え 未踏の南極大陸を半周

ウシュアイア(アルゼンチン) 発着

26泊27日

ル コマンダン シャルコー:2023年2月14日

大人お一人様クルーズ代金:37,780€~

クルーズ代金に含まれるもの:オークランドでの一泊、  
往復送迎、オークランドーダニーデン間および  
ウシュアイアーサンティアゴ間のフライト代



ニュージーランドのダニーデンから出発し、南極大陸の西側を半周しながら南米最南端の島々ティエラ・デル・フエゴまで航海します。ロス海付近は南緯90度に最も近く、南極探検隊の出発点となった歴史的な場所でもあります。世界最大の海洋保護区での動物たちとの出会いも楽しみです。ロス海を越えた先にあるマリーバードランドでは、自然が作り上げた氷の聖堂が未知なる世界へと誘います。ル コマンダン シャルコーの最先端技術により、過酷な気候がこれまで人類の到達を遠ざけてきたベリングスハウゼン海へもあなたをお連れします。南極大陸を半周するこの旅は、南極の美しさ、そしてこれまで到達することが困難だったその過酷さと、南極の姿の真髄に触れることができる冒険の航海です。



### ハイライト

- アデリーランド、マリーバードランド、ビクトリアランドを結ぶ、フランスとオーストラリアの南極大陸探検の歴史に迫る、全く新しい南極半周航路です。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- デュモンデュルビル海、ソモフ海、ロス海、アムンゼン海、ベリングスハウゼン海と5つの南極海を越え、ピーターI島、シャルコー島、マリーバードランド諸島といったまだほとんど訪れられていない南極圏内の島々を訪れることができます。
- 南極の本格的な中心部へ。棚氷、氷河、冰山、流水などの特別な風景をゆくクルーズライフが待っています。
- カニクイアザラシ、ヒョウアザラシ、ウェッデルアザラシ、ザトウクジラ、シャチ、キングペンギン、アデリーペンギンなどとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。



## 世界の果てにある「最後の海」を訪ねて

南極の中でも最も過酷な環境にあるロス海は、地球上で最も汚染されていない「最後の海」と呼ばれています。ロス海南部は南極最大の棚氷に覆われていて、南極大陸に深く湾入しているため、南極点までの距離が大陸の他の場所より近く、極点制覇をはじめとする数々の探検の出発点となってきました。

南極周辺で活動する24カ国と欧州連合(EU)は2016年、「南極の海洋生物資源の保存に関する委員会」で、ロス海に海洋保護区を設けることに合意。これにより、約155万平方キロメートルに及ぶ世界最大の保護区が誕生しました。そのうち112万平方キロメートルは漁業が禁止され、クジラやシャチ、オキアミやプランクトンまで、世界で最も多くの海洋生物が生息する海になりました。



ロス島でのキャンプ



ミンククジラ



Unexplored Antarctica  
between two Continents

## 極限の緯度帯を進む 未踏の南極大陸半周の旅

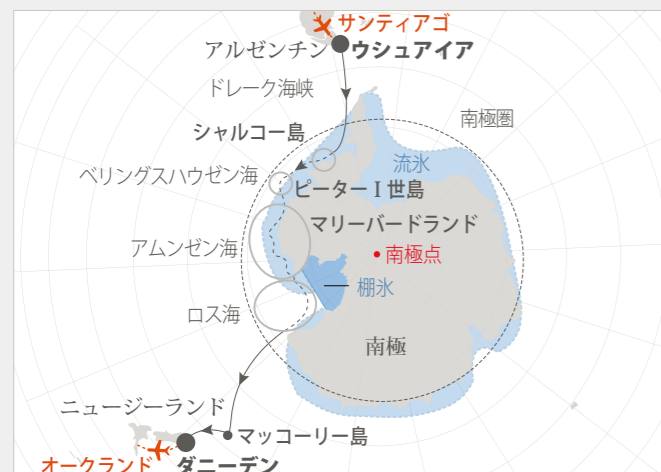
ウシュアエア (アルゼンチン) 発 ▶  
ダニーデン (ニュージーランド) 着

28泊29日

ル コマンダン シャルコー: 2023年1月16日

大人お一人様クルーズ代金: 41,830€~

クルーズ代金に含まれるもの: サンティアゴでの一泊、  
サンティアゴーウシュアエア間および  
ダニーデンーオークランド間のフライト代、往復送迎



南米大陸の最南端を出発し南極に入り、極限の緯度帯へと進む探検へ。この旅はシャルコー島、ピーター I 世島、マリーバードランドといった、これまでに訪れた人が極端に少ない秘境に挑みます。世界最大の海洋保護区であるロス海には、ウミツバメ、ザトウクジラ、シャチ、ウェッデルアザラシ、カニクイアザラシ、ヒョウアザラシ、アデリーペンギンが生息していて、そんな貴重な動物たちとの出会いが旅を彩ります。青の色彩が印象的なドライガルスキー氷河、果てしなく続く不変のロス棚氷、南氷洋上に張り出したウィルキンス棚氷、マリーバードランドのゲッツ棚氷など、目にする全てが忘れられない思い出となることでしょう。世界で最も南に位置する活火山・エレパス山の麓には、南極探査の黄金時代、南極点到達を競い合ったシャクルトンとスコットの功績を物語る、かつてのベースキャンプがそのまま残されています。



### ハイライト

- ロス棚氷にあるクジラ湾から、米国の南極観測基地・マクマード基地まで、南極制覇の歴史をたどるこれまでにない南極半周航路です。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- ベリングスハウゼン海、アムンゼン海、ロス海と3つの南極海を越え、シャルコー島、ピーター I 世島、マリーバードランド諸島といったまだほとんど訪れられていない南極圏内の島々を訪れることができます。
- 南極の本格的な中心部へ。棚氷、氷河、冰山、流水などの特別な風景をゆくクルーズライフが待っています。
- カニクイアザラシ、ヒョウアザラシ、ウェッデルアザラシ、ザトウクジラ、シャチ、キングペンギン、アデリーペンギンなどとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。

The Weddell Sea &  
the South Sandwich Islands

## 南極半島と知られざる サウスサンドウィッチ諸島を めぐる旅

ウシュアエア (アルゼンチン) 発 ▶  
モンテビデオ (ウルグアイ) 着

17泊18日

ル コマンダン シャルコー: 2023年3月12日

大人お一人様クルーズ代金: 22,350€~

クルーズ代金に含まれるもの: サンティアゴでの一泊、  
サンティアゴーウシュアエア間のフライト代、往復送迎



南極半島の各地をめぐるだけでなく、パタゴニアの森林地帯、南極と南米の間に位置するサウスサンドウィッチ諸島など、未だ知られざる秘境をめぐる、ポナンでもこれまでになかった新しいコースです。南極海の中でも滅多に訪れることができないスコシア海域を航行し、アンデス山脈と南極半島の山脈を繋ぐ、壮麗な火山諸島が連なる絶景を楽しむことができます。黒砂の海岸で出会うペンギンや凍てつく海で戯れるシャチ、ザトウクジラなど、南極を象徴する数々の動物たちが私たちの旅を出迎えてくれます。フェゴ諸島の緑豊かな丘陵地、ウェッデル海の卓状冰山、サウスサンドウィッチ諸島の氷河に覆われた山々、サウスジョージアの雪を頂いた山々という、4つの全く異なる自然環境を体験できる贅沢なクルーズです。



### ハイライト

- 大西洋と南極海にまたがるスコシア海の海域周辺に沿って航海する全く新しいコースです。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- 極地の特有な自然や気象、海と陸の生態系などナチュラリストガイドによる講演会や解説も見どころです。
- パタゴニアの森林地帯、サウスサンドウィッチ諸島の火山、ウェッデル海の卓状氷河、冰山などの特別な風景をゆくクルーズライフが待っています。
- キングペンギン、アデリーペンギン、ジェンツーペンギン、マカロニペンギン、オットセイ、ゾウアザラシ、クジラ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。



The Weddell Sea &amp; Larsen Ice Shelf

## 南極の生物の楽園 ウェッデル海

ウシュアイア(アルゼンチン) 発着

11泊12日

ル コマンダン シャルコー：2022年11月27日、12月8日

大人お一人様クルーズ代金：15,230€～

クルーズ代金に含まれるもの：サンティアゴでの一泊、  
サンティアゴーウシュアイア間の往復フライト代、往復送迎



ほぼ全域が厚く圧縮された流水で凍結している南極ウェッデル海。人を寄せ付けないこの海は、ル コマンダン シャルコーだからこそ訪れることのできる場所であり、想像を超える景観との出会いが待ち受けています。ウェッデル海の北西にそびえる巨大な氷の壁「ラーセン棚氷」は、航海者の行く手に立ちはだかる存在でありながら、卓状氷山を分離し、魅惑的な風景を作り出しています。このウェッデル海は野生生物保護区の中でも特別豊富な生態系を残している、カニクイアザラシ、ヒョウアザラシ、ウェッデルアザラシ、ザトウクジラ、アデリーペンギンなどが暮らす生物の楽園でもあります。



## 地球のバリアー機能を持つ ラーセン棚氷

南極半島北東部の海岸沿い、ウェッデル海を中心部にそびえる氷の壁「ラーセン棚氷」。棚氷は、氷河によって形成された厚い氷のプレートで、海上へ張り出しています。氷棚は南極を覆う氷床が海へ溶け出すのを防ぐ壁の役割をはたし、また氷河の表面が融解する速度を和らげる役割を担っているため、氷棚が溶けると氷河が崩壊する速度が上がってしまいます。ラーセン棚氷は年々崩壊しており、2017年には約5,800平方キロメートルに渡り巨大な氷が島として分離してしまいました。南極の氷床は世界の海面を60m上昇させるほどの水を閉じ込めているため、棚氷減少の問題は人類の暮らしに直結しています。その現実を自身の目で確かめることは、地球環境の未来を考え、行動するきっかけにもなることでしょう。

### ハイライト

- 浮氷に覆われたウェッデル海内部を航行し、壮大なラーセン棚氷と棚氷から分離して形成された巨大な卓状氷山を観察します。
- 経験豊富なナチュラリストガイドとゾディアックボートやホバークラフトに乗り込み、上陸や海上ツアーをご堪能ください。
- 極地特有の自然や気象、海と陸の生態系などナチュラリストガイドによる講演会や解説も見どころです。
- ウェッデル海の卓状氷河、氷山などの特別な風景をゆくクルーズライフが待っています。
- ウェッデルアザラシ、カニクイアザラシ、ヒョウアザラシ、アデリーペンギン、ザトウクジラ、海鳥などとの出会いも楽しみです。
- カヤック、ハイキング、スノーシューハイキング、科学研究への参画など、ユニークな体験が目白押しです。





## クルーズ前後のプログラム

ポナンがセレクトしたフライトとクルーズ日程を組み合わせることで、クルーズ前後の寄港地滞在日程を延長することができます。

ツアープログラムの詳細と料金については、旅行代理店にお問い合わせください。

## 北極圏クルーズにご参加の方

### レイキャビク（アイスランド）

### ブルーラグーンでリラックス

*(1泊2日 - 料金はお問い合わせください)*

美しいブルーラグーンホテルに2日間の滞在。火山岩に彫られたスパは、時代を超えたりラクゼーションの思い出をお約束します。また、午後と午前のフリータイムには、レイキャビクの街を散策することができます。さらにオプションで、ヘリコプターで空からアイスランド遊覧やアイスランドで最大落差を誇るグリムール滝の見学、世界遺産・シンクヴェトリル国立公園の訪問などをお選びいただけます。

#### 適用

クルーズ乗船前：

レイキャビクから出発するすべてのクルーズに適用されます。

クルーズ下船後：

レイキャビクに到着する全てのクルーズに適用されます。

#### 適用

### ロングイェールビーン（スピッツベルゲン）（ノルウェー）

### パリ・シャルルド ゴール空港での移動と宿泊

*(1泊 - 料金はお問い合わせください)*

北極圏の旅の前後に、パリ・シャルルド ゴール空港での1泊をお楽しみください。ポナンが送迎を手配し、上質なホテルでの一夜をお約束します。

#### 適用

クルーズ乗船前：

ロングイェールビーンから出発するすべてのクルーズに適用されます。

クルーズ下船後：

ロングイェールビーンに到着する全てのクルーズに適用されます。

#### 適用

クルーズ乗船前：

2023年1月16日発（ウシュアイア〜ダニーデン）世界の果てのその先へ、未踏の南極大陸半周のみ

### ノーム（アラスカ）からアメリカ合衆国へ

### シアトル泊

*(1泊 - 料金はお問い合わせください)*

ワシントン州最大の都市、シアトルをご自身のペースで観光していただけます。手つかずの自然やネイティブアメリカンのユニークな文化などで知られるシアトルを、午後と夜の自由時間にお楽しみいただけます。

#### 適用

クルーズ下船後：

2022年9月7日発（レイキャビク〜ノーム）探検家たちの夢「北西航路」のみ

## 南極クルーズにご参加の方

### ウシュアイア（アルゼンチン）

### サンティアゴ泊

*(1泊 - 料金はお問い合わせください)*

南極の旅を終えた後、洗練されたサンティアゴのホテルで一泊し、旅を締めくくることができます。翌日の帰国便までの間、ゆったりとした時間をお過ごしください。

#### 適用

クルーズ下船後：

ウシュアイアに到着する全てのクルーズに適用されます。

#### 適用

### オークランド（ニュージーランド）

### オークランド泊

*(1泊 - 料金はお問い合わせください)*

南極クルーズを締めくくるのは、ニュージーランドの首都オークランドでの1泊2日です。豪華なホテルで、翌朝の空港への移動までのんびりとお過ごしください。

#### 適用

クルーズ下船後：

2023年1月16日発（ウシュアイア〜ダニーデン）世界の果てのその先へ、未踏の南極大陸半周のみ



### 特定旅行規約 ―抜粋―

2023年―2024年冬（2022年3月2日改定）

#### 1. クルーズ代金に含まれるもの

クルーズ代金はひとりあたりの代金で、下記を含みます
●乗船中のすべての食事（乗船日の夕食〜下船日の朝食）
●船長主催のウェルカムカクテルパーティーとフォーマルディナー

●「オープンバー」の飲料（グラスワイン、ハウスシャンパン、プレミアムブランド以外のアルコール類。バーメニューをご覧ください。）
●夜に開催されるエンターテイメントなどのイベント
●24時間のルームサービス（スペシャルセレクション）
●「エクスペディション」と表示されているすべてのクルーズに、高い知識を持つフランス語/英語のバイリンガルのエクスペディションチームが乗船します。
●「船内レクチャー」と表示されているクルーズにて、英語を話す講師によるレクチャーがあります。
●「ダイバー乗船」と表示されているクルーズには、英語を話すダイブマスターが乗船します。
●ウォータースポーツアクティビティ（スクーバダイビングを除く）。現地当局の許可が下り、船長により海の状況に応じた安全が確認できた場合に、船の設備を利用したウォータースポーツアクティビティをお楽しみいただけます。

●保護地区への入場料
●船内でのWiFi（無制限）
●すべての南極クルーズ
上陸行動時に着用いただけるパルカ（お持ち帰りいただけます。子どもサイズのご用意はありません）、極地の条件に適応した長靴の無料貸し出し。

#### 1-1. 南極クルーズ ル・コマンダン・シャルコー ホテル、フライト、送迎付クルーズ

クルーズ代金はお一人様あたりの代金で、下記を含みます。

■プンタアレナス〜ウシュアイア クルーズ
サンティアゴ(チリ)の5つ星ホテルでの前泊（昼食前から部屋利用可能）／ホテルでの夕食（ドリンク込）／朝食／空港への送迎。／フライト：サンティアゴ〜プンタアレナス／乗船時間にあわせた船までの送迎
<下船日>
空港までの送迎／フライト：ウシュアイア/サンティアゴ
■ウシュアイア〜ウシュアイアクルーズ
サンティアゴ(チリ)の5つ星ホテルでの前泊（昼食前から部屋利用可能）／ホテルでの夕食（ドリンク込）朝食／空港への送迎／フライト：サンティアゴ/ウシュアイア／乗船時間にあわせた船までの送迎／
<下船日>
空港までの送迎／フライト：ウシュアイア/サンティアゴ
■ウシュアイア〜ダニーデンクルーズ
オークランド（ニュージーランド）の5つ星ホテルでの宿泊／ホテルでの夕食（ドリンク込）／朝食／空港への送迎／フライト：サンティアゴ/ウシュアイア／乗船時間にあわせた船までの送迎
<下船日>
空港までの送迎／フライト：ダニーデン／オークランド
■ダニーデン〜ウシュアイアクルーズ
オークランド（ニュージーランド）の5つ星ホテルでの1泊宿泊／ホテルでの夕食（ドリンク込）／朝食

#### 2. クルーズ代金に含まれないもの

●「ホテル、フライト、送迎付」クルーズに記載されているもの以外のクルーズ前後の地上サービス。地上サービスの詳細をご希望の方、またご相談などがあれば旅行代理店および、asia.ponant.com までお気軽にご連絡ください。
●パンフレットおよび www.ponant.com に掲載されている

お問い合わせ・お申し込みは下記まで

クルーズ前後のオプションプログラム、オーバーランドエクスカージョン

●ビザの取得にかかる費用（各国で定められた手続きによっては追加の手数料などが発生することがあります）、必要に応じて課される出入国税
●船員、現地ガイド、および、運転手へのチップ
●荷物の取り扱いにかかる費用
●スパの料金（出発前に予約いただくオプションルのサービス）
●クルーズ代金に含まれるものに記載以外のドリンク
●ランドリーサービス、ヘアサロン、スパのアラ・カルテトリートメント
●船内における個人的な出費、診療室での受診、処方箋
●キャンセル料、帰国費用、医療保険

#### 3. 地上におけるサービス

クルーズ出発地にて、船までの送迎や、ホテル、レストラン、ガイド付きツアーなどが含まれる場合、いずれもポナン社とは別の代理店により運営されます。サービスを提供する業者による行為、または不作為に関してポナン社は一切の責任を負いません。お客様は、ポナン社が地上および海上におけるサービスを提供する人物、代理店、および業者の、仲介者や受託者であることに同意しているものとします。
フライト付クルーズでは、定期便またはプライベートチャーター機を利用します。プログラムの最終スケジュールは、クルーズチケットと共にご案内いたします。すべてのプログラムは、エコノミークラスの利用を基本とし、空席状況をもとに設定されます。もしエコノミークラスに空席がない場合には、追加料金をお支払いいただき、空き状況に応じて別クラスにてお取りいただくことをおすすめいたします。
国際便をご利用の際の手荷物制限は、受託手荷物はひとりにつき 23kg／50ポンド、機内持ち込み手荷物は 8kg／11〜17ポンドまでとなります（フリークエントフライヤーの特典を除く）。また、国内定期便あるいは大陸間のフライトの際の手荷物制限は、受託手荷物はひとりにつき 15〜20kg／33〜44ポンド、機内持ち込み荷物は 5〜8kg／17ポンドまでとなります。ポナン社によるプライベートチャーター機においての手荷物制限は、受託手荷物はひとりにつき 23kg／50ポンド、機内持ち込み荷物は 5kg／11ポンドまでとなります。荷物制限に関してはご理解いただき、ご協力をお願いいたします。重量超過および大きな荷物は、航空会社によっては追加料金が必要となる場合や、安全上の理由から荷物の受け取りを拒否される場合があります。ポナン社および航空会社は、重量超過などの荷物がチェックイン時に受け取り拒否をされた場合にも一切の責任を負いません。

**3-1. 「フライト、送迎付」クルーズに含まれる地上サービス**
クルーズ前やクルーズ後に含まれる地上サービスの詳細はクルーズ出発の15ヶ月前にお渡しする書類およびウェブサイト(asia.ponant.com)に記載されています。最終確定はクルーズ出発の3ヶ月前頃、フライトスケジュール確定後です。

**3-2. エクスペディションクルーズ中の上陸中のアクティビティ**
エクスペディションクルーズに乗船されるお客様は、クルーズ中にエクスペディションチームにより提示される行動規範に従って行動することに同意したものとします。エクスペディションクルーズに参加する際には、適切な装備（衣類、サングラス、防水性のバックパックなど）をご準備ください。また、陸上行動中に野生動物を快過かつ敬意を持って観察できるように双眼鏡をご持参いただくことをおすすめいたします。一部の港では、現地ガイドの参加と送迎が必要なアクティビティを実施します。これらのアクティビティは、当社のナチュラリストチームによって強化され、各港でお一人様1回限りの参加とさせていただきます。

**3-3. クルーズ前後のプログラム**
クルーズの前後に催行されるエクスカーション（詳細は、www.

ponant.com でご確認、事前予約ができます）は、ポナン社ではない別業者が運営します。ポナン社は代理人であり、そのサービスや、サービスを提供する業者による行為、または不作為に関して一切の責任を負いません。ツアーへ参加される場合、ポナン社が地上および海上におけるサービスを提供する代理店に対しては、仲介者や受託者であることに同意しているものとします。
ホテルは4つ星、および5つ星の評価を受けたホテルを利用します。チェックインは午後4時、チェックアウトは午前11時となりますが、追加料金をお支払いいただくことで早めのチェックイン、遅めのチェックアウトが可能です。
Escortedのロゴがあるクルーズには、ポナンのスタッフが同行します（ポナン社のスタッフが同行するのは、1プログラムあたり20名以上からとなります）。

#### 3-4. 寄港地でのエクスカージョン（ツアー）

出発前に関係当局に必要な情報をご確認ください。また、訪問国に関する情報も参照してください。各国の情報や状況は出発前に変更される可能性もあることから、必ず出発直前の情報もご確認ください。また、目的地到着後は現地の状況に適した行動を心がけ、旅行中に高価なものを身につけたり携帯したりしないなど、十分にご注意ください。

特記されていない限り、寄港地でのエクスカージョンは船内にてお申し込み、お支払いとなります。エクスカージョンは、現地ツアーオペレーターとの間に契約された一般規約および、現地国の規制によって規定されます。乗客は、ポナン社が、クルーズに関連するサービスを提供する地上および海上の代理店や業者を含むあらゆる人物の仲介者・受託者であることを同意しているものとします。
エクスカージョンには、お身体の不自由な方には不向きなアクティビティが含まれる場合があります。
料金は目安であり、変更される場合があります。出発前に、最新の料金を明記した内容の詳細を送付します。エクスカージョンの内容は、クルーズ出発日の5ヶ月前からウェブサイトwww.ponant.comにてご覧いただけます。
寄港地でのエクスカージョンは現在、船上でのみご予約いただけます。技術的な理由、参加者の不足あるいは不可抗力によりエクスカージョンが中止された場合には、お客様に対するエクスカージョン代金の請求はなく、補償の対象にもなりません。お客様の都合で、申し込み後にキャンセルされた場合には代金は返金されませんのでご注意ください。エクスカージョンに食事が含まれる場合、提供される食事は簡単な食事となり、船内で提供される食事とは異なることをご了承ください。

#### 3-5. 極地エクスペションでのカヤック

18歳未満の方：
乗船日の45日前までに親または法的保護者による水泳許可書を、ポナン社のメディカル部門にご提出いただき、承認をお受けください。アクティビティ参加時、親または法的保護者の立ち会いが必要です。ル・コマンダン・シャルコーでの寒中水泳とドライスーツ着用寒中水泳参加をご希望の方は、乗船日の45日前までに、ポナン社が指定する健康問診票、かかりつけ医による心電図（EKG）をポナン社のメディカル部門にご提出いただき、承認をお受けください。

18歳未満の方は、上記に加え両親または法的保護者による参加者が泳げるという宣誓声明書の提出、アクティビティ参加時には親または法的保護者の立ち会いが必要です。

#### 4. 船内の通貨

ポナン社のクルーズ船内ではユーロ、ポールゴーギャンクルーズの船内では米ドルが公式通貨です。乗船後、船内にてクレジットカードをご登録ください。下船前の夜に、船内でご利用いただいた料金の請求書をお客様のキャビンにお届けします。クレジットカードおよび現金でのみお支払いが可能です。



http://www.ponant.jp



## クルーズ安全衛生プロトコル

【日本語】



【英語】



[au.ponant.com/sail-with-confidence](https://au.ponant.com/sail-with-confidence)  
[ponant.jp/pamphlet/Covid\\_safe\\_Ponant\\_Protocol.pdf](https://ponant.jp/pamphlet/Covid_safe_Ponant_Protocol.pdf)

## 販売約款

【日本語】



【英語】



81ページの特定旅行規約は抜粋です。  
 正式な旅行規約、販売約款はこちらからご確認ください。  
[au.ponant.com/terms-conditions](https://au.ponant.com/terms-conditions)

「クルーズ安全衛生プロトコル」並びに「販売約款」は更新制のある文書となります。  
 英語で更新された後に随時日本語版も翻訳の上更新していますが、  
 更新に差がある場合は英語版のバージョンが優先されます。

Photos credits: Studio PONANT: Olivier Blaud, Laurence Fischer, Clément Louineau, Nathalie Michel, Morgane Monneret, Margot Sib, Julie Lacombe, Violette Vauchelle, Ophélie Bleunven, Laure Patricot - PONANT: Nicolas Dubreuil, Julien Fabro, Ian Dawson, Philip Plisson, Gilles Trillard, Mike Louagie - Famille Charcot - SDI Sterling Design International - Lucas Humbert - Saskia Travert - J. Lanshere - Daphné Buiron - Joint Arctic Command Denmark - Adobestock - Depositphotos - Istock - Alamy / Illustrations: The Editorialist, Mégane Mouchanat. All rights reserved. Non contractual document and photos. The photos used in this brochure are only possible experiences and therefore can not be guaranteed. Brochure design and graphic production: C&O Le Cabinet de Communication.





# World Leader of Luxury Expeditions

## INFORMATION & RESERVATIONS

reservations.aus@ponant.com | au.ponant.com or contact your Travel Agent

ポナンの旅の様子や最新情報をSNSで配信中!



@PonantEN  
@LeCommandantCharcot



Instagram: @lecommandantcharcot



Twitter: @ponant\_cruises



Youtube: PONANT Cruises



アジア太平洋本社 : Ground Floor, One Cassins Avenue,  
North Sydney NSW 2060 AUSTRALIA

発行日: 2022年4月26日